



茨城県

## 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成27年12月調査分)

	平成27年9月	平成27年12月	前回調査比
茨城県	46.8	<b>46.5</b>	△0.3
県北地域	42.0	<b>46.3</b>	+4.3
県央地域	51.4	<b>47.8</b>	△3.6
鹿行地域	48.6	<b>48.2</b>	△0.4
県南地域	45.8	<b>50.5</b>	+4.7
県西地域	46.4	<b>39.4</b>	△7.0

### 《景気の先行き判断DI》

	平成27年9月	平成27年12月	前回調査比
茨城県	48.2	<b>46.6</b>	△1.6
県北地域	46.9	<b>47.7</b>	+0.8
県央地域	50.5	<b>46.1</b>	△4.4
鹿行地域	48.6	<b>48.2</b>	△0.4
県南地域	48.1	<b>49.1</b>	+1.0
県西地域	46.9	<b>42.1</b>	△4.8

平成28年1月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成27年12月1日現在

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	275 人	91.7%
県北地域	60 人	54 人	90.0%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	54 人	90.0%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

## 5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成27年12月調査の調査期間は、平成27年12月1日から平成27年12月31日である。

## 6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$  となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは46.5となった。平成27年9月の調査（以下、「前回調査」という。）から0.3ポイント低下し、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

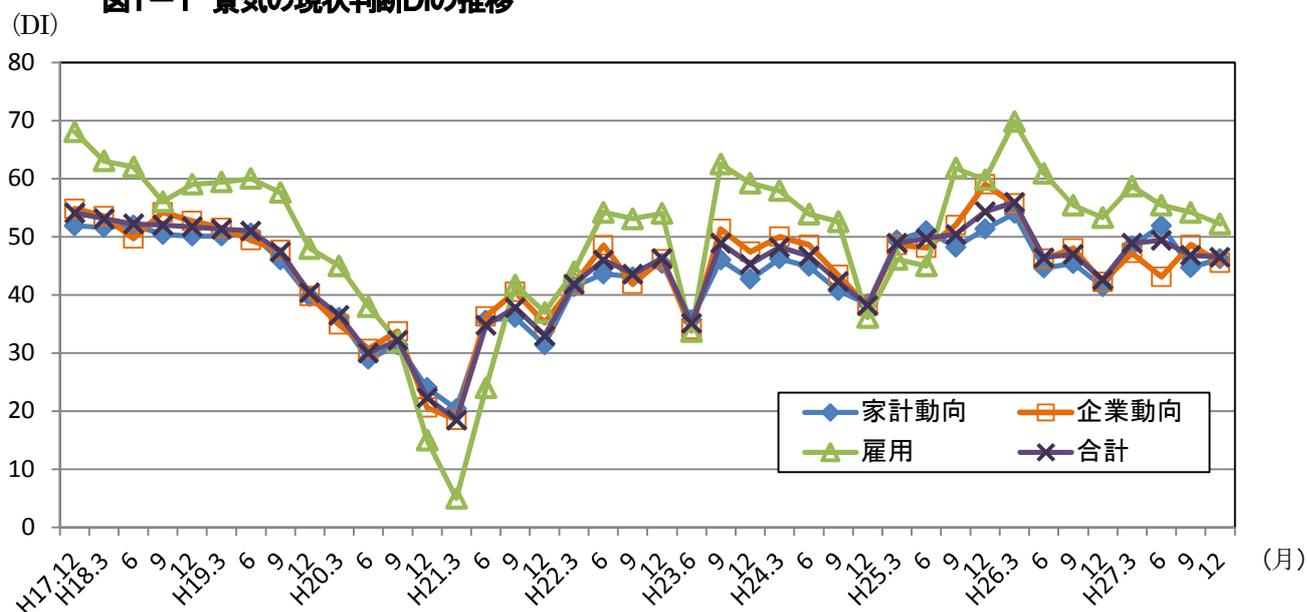
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成26年 12月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月
<b>合計</b>	<b>42.6</b>	<b>48.9</b>	<b>49.4</b>	<b>46.8</b>	<b>46.5</b>
<b>家計動向関連</b>	<b>41.4</b>	<b>48.4</b>	<b>51.9</b>	<b>44.7</b>	<b>46.2</b>
小売関連	41.5	50.4	52.2	49.1	46.2
飲食関連	39.8	48.9	50.0	38.5	39.6
サービス関連	41.8	46.3	52.4	42.4	47.2
住宅関連	41.7	50.0	50.0	53.1	56.3
<b>企業動向関連</b>	<b>42.2</b>	<b>47.2</b>	<b>43.1</b>	<b>48.6</b>	<b>45.5</b>
農林水産業	25.0	43.8	40.6	46.9	50.0
製造業	39.4	43.5	42.6	46.1	41.3
非製造業	50.0	52.9	44.3	52.1	50.0
<b>雇用関連</b>	<b>53.3</b>	<b>58.7</b>	<b>55.4</b>	<b>54.2</b>	<b>52.2</b>

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年12月	1.4%	14.2%	48.3%	25.7%	10.4%
平成27年3月	2.1%	22.4%	50.0%	19.9%	5.6%
平成27年6月	1.7%	23.0%	51.2%	19.2%	4.9%
平成27年9月	1.5%	18.7%	52.1%	21.0%	6.7%
平成27年12月	0.7%	18.9%	53.1%	20.0%	7.3%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは46.6となった。前回調査より1.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

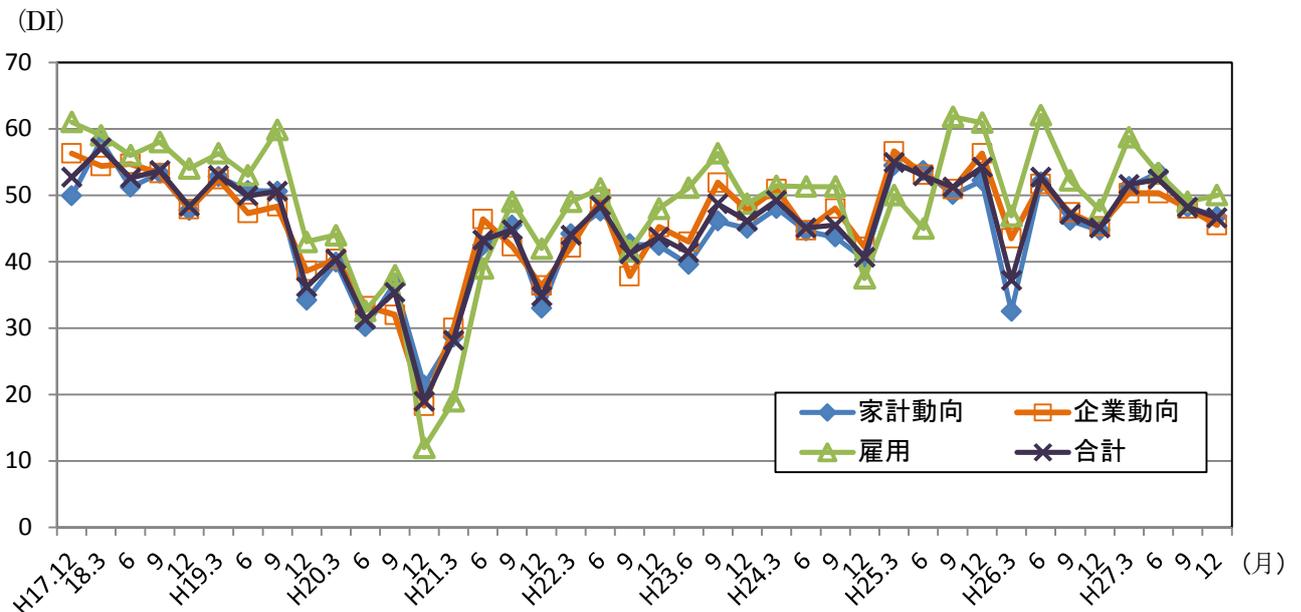
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
<b>合計</b>		<b>45.1</b>	<b>51.6</b>	<b>52.4</b>	<b>48.2</b>	<b>46.6</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>44.7</b>	<b>51.3</b>	<b>53.4</b>	<b>48.2</b>	<b>46.8</b>
小売関連		44.9	54.2	53.7	47.2	45.8
飲食関連		46.6	50.0	52.1	44.8	49.0
サービス関連		44.7	49.7	54.1	51.1	46.9
住宅関連		38.9	42.9	50.0	40.6	46.9
<b>企業動向関連</b>		<b>45.3</b>	<b>50.3</b>	<b>50.3</b>	<b>48.0</b>	<b>45.5</b>
農林水産業		31.3	46.9	43.8	50.0	43.8
製造業		45.2	52.2	52.1	45.0	44.6
非製造業		48.6	48.6	49.3	51.4	47.1
<b>雇用関連</b>		<b>47.8</b>	<b>58.7</b>	<b>53.3</b>	<b>49.0</b>	<b>50.0</b>

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	1.4%	13.9%	55.2%	22.9%	6.6%
平成27年 3月	1.0%	27.6%	51.7%	15.7%	3.8%
平成27年 6月	2.4%	24.0%	56.8%	14.3%	2.4%
平成27年 9月	0.7%	19.9%	55.1%	20.2%	4.1%
平成27年12月	0.4%	15.3%	59.6%	20.0%	4.7%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは46.3となった。前回調査より4.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.1	43.6	43.9	42.0	46.3
家計動向関連		46.3	43.1	46.4	39.4	46.8
企業動向関連		46.1	43.4	38.9	43.4	44.7
雇用関連		43.8	50.0	43.8	56.3	50.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	5.3%	19.3%	43.9%	17.5%	14.0%
平成27年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	18.6%	10.2%
平成27年 6月	1.8%	14.0%	49.1%	28.1%	7.0%
平成27年 9月	1.8%	17.9%	41.1%	25.0%	14.3%
平成27年12月	0.0%	20.4%	50.0%	24.1%	5.6%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは47.8となった。前回調査より3.6ポイント低下し、横ばいを表す50を4期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		41.1	50.0	52.1	51.4	47.8
家計動向関連		40.1	48.6	55.8	47.1	46.6
企業動向関連		35.9	46.7	40.6	56.7	45.3
雇用関連		65.0	70.0	60.0	65.0	65.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	0.0%	15.3%	45.8%	27.1%	11.9%
平成27年 3月	1.8%	25.0%	50.0%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	1.7%	28.3%	51.7%	13.3%	5.0%
平成27年 9月	3.6%	25.5%	47.3%	20.0%	3.6%
平成27年12月	1.7%	19.0%	55.2%	17.2%	6.9%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは48.2となった。前回調査より0.4ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		44.1	50.9	50.4	48.6	48.2
家計動向関連		41.4	52.3	54.4	46.8	47.0
企業動向関連		44.7	43.4	42.1	51.3	50.0
雇用関連		60.0	70.0	55.0	50.0	50.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	0.0%	15.3%	50.8%	28.8%	5.1%
平成27年3月	0.0%	29.8%	45.6%	22.8%	1.8%
平成27年6月	1.7%	22.4%	53.4%	20.7%	1.7%
平成27年9月	0.0%	14.5%	67.3%	16.4%	1.8%
平成27年12月	0.0%	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%

### ④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.5となった。前回調査より4.7ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		43.6	50.9	54.5	45.8	50.5
家計動向関連		41.7	51.5	57.8	44.8	50.0
企業動向関連		45.8	51.4	50.0	44.7	51.3
雇用関連		50.0	43.8	50.0	55.0	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	1.8%	10.9%	54.5%	25.5%	7.3%
平成27年3月	5.5%	21.8%	47.3%	21.8%	3.6%
平成27年6月	1.8%	25.5%	61.8%	10.9%	0.0%
平成27年9月	1.9%	13.2%	54.7%	26.4%	3.8%
平成27年12月	1.9%	20.8%	56.6%	18.9%	1.9%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは39.4となった。前回調査より7.0ポイント低下し、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

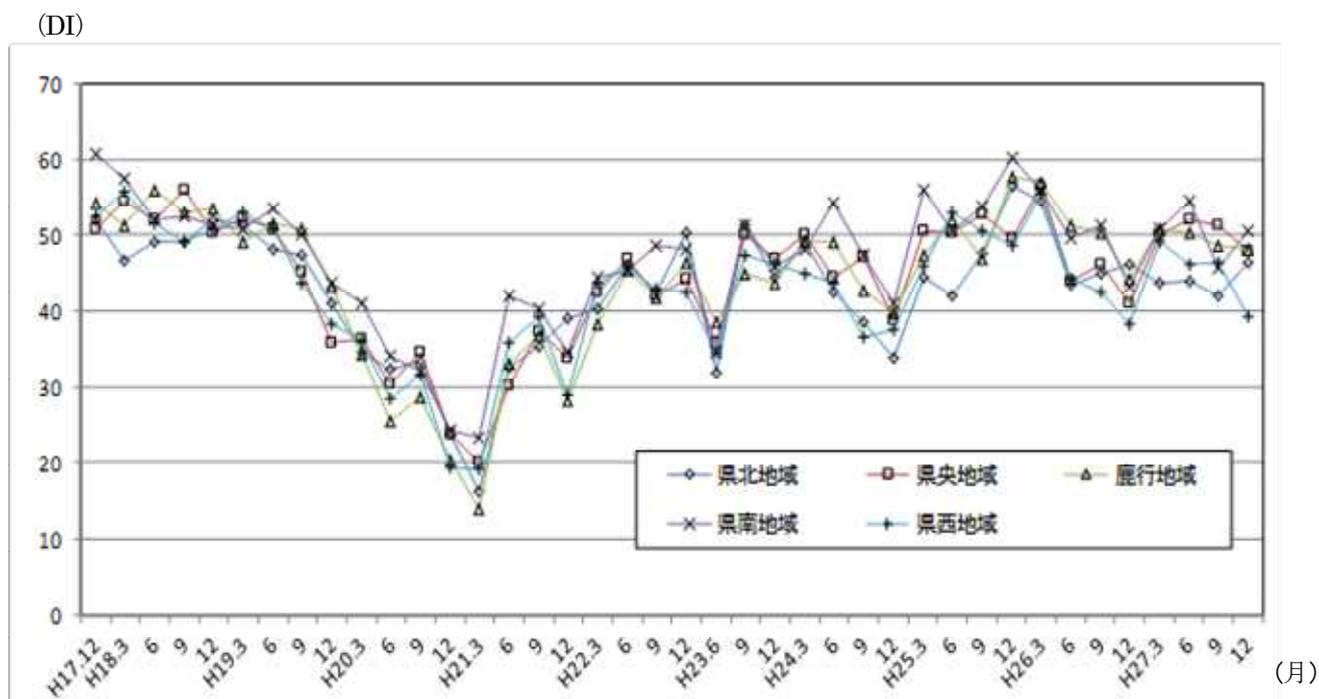
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		38.4	49.2	46.1	46.4	39.4
家計動向関連		37.9	47.2	44.9	45.4	40.6
企業動向関連		37.5	51.4	43.4	48.4	35.3
雇用関連		45.0	55.0	68.8	45.0	45.0

表2-10 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年12月	0.0%	10.3%	46.6%	29.3%	13.8%
平成27年 3月	1.7%	25.4%	47.5%	18.6%	6.8%
平成27年 6月	1.8%	24.6%	40.4%	22.8%	10.5%
平成27年 9月	0.0%	22.9%	50.0%	16.7%	10.4%
平成27年12月	0.0%	16.7%	42.6%	22.2%	18.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.7となった。前回調査より0.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		42.1	51.7	49.1	46.9	47.7
家計動向関連		39.7	51.4	48.6	47.7	48.4
企業動向関連		46.1	51.3	50.0	46.1	46.1
雇用関連		43.8	56.3	50.0	43.8	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	1.8%	8.8%	57.9%	19.3%	12.3%
平成27年 3月	0.0%	30.5%	52.5%	10.2%	6.8%
平成27年 6月	0.0%	14.0%	71.9%	10.5%	3.5%
平成27年 9月	0.0%	17.9%	55.4%	23.2%	3.6%
平成27年12月	0.0%	16.7%	59.3%	22.2%	1.9%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.1となった。前回調査より4.4ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.2	49.6	54.6	50.5	46.1
家計動向関連		45.4	50.0	58.3	51.4	47.3
企業動向関連		45.3	43.3	46.9	46.7	39.1
雇用関連		55.0	65.0	50.0	55.0	60.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	0.0%	13.6%	62.7%	18.6%	5.1%
平成27年 3月	3.6%	19.6%	53.6%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	5.0%	26.7%	53.3%	11.7%	3.3%
平成27年 9月	0.0%	27.3%	50.9%	18.2%	3.6%
平成27年12月	1.7%	12.1%	58.6%	24.1%	3.4%

### ③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2となった。前回調査より0.4ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合 計		46.6	50.9	53.9	48.6	48.2
	家計動向関連	45.7	50.8	55.9	47.6	49.2
	企業動向関連	46.1	50.0	51.3	50.0	45.8
	雇用関連	55.0	55.0	50.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	0.0%	16.9%	57.6%	20.3%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	24.6%	56.1%	17.5%	1.8%
平成27年 6月	3.4%	22.4%	60.3%	13.8%	0.0%
平成27年 9月	1.8%	12.7%	67.3%	14.5%	3.6%
平成27年12月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%

### ④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.1となった。前回調査より1.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合 計		48.2	52.7	53.6	48.1	49.1
	家計動向関連	50.0	53.0	53.9	47.4	48.3
	企業動向関連	45.8	51.4	51.4	47.4	50.0
	雇用関連	43.8	56.3	60.0	55.0	50.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	3.6%	18.2%	47.3%	29.1%	1.8%
平成27年 3月	1.8%	27.3%	52.7%	16.4%	1.8%
平成27年 6月	1.8%	29.1%	50.9%	18.2%	0.0%
平成27年 9月	0.0%	17.0%	60.4%	20.8%	1.9%
平成27年12月	0.0%	20.8%	56.6%	20.8%	1.9%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは42.1となった。前回調査より4.8ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

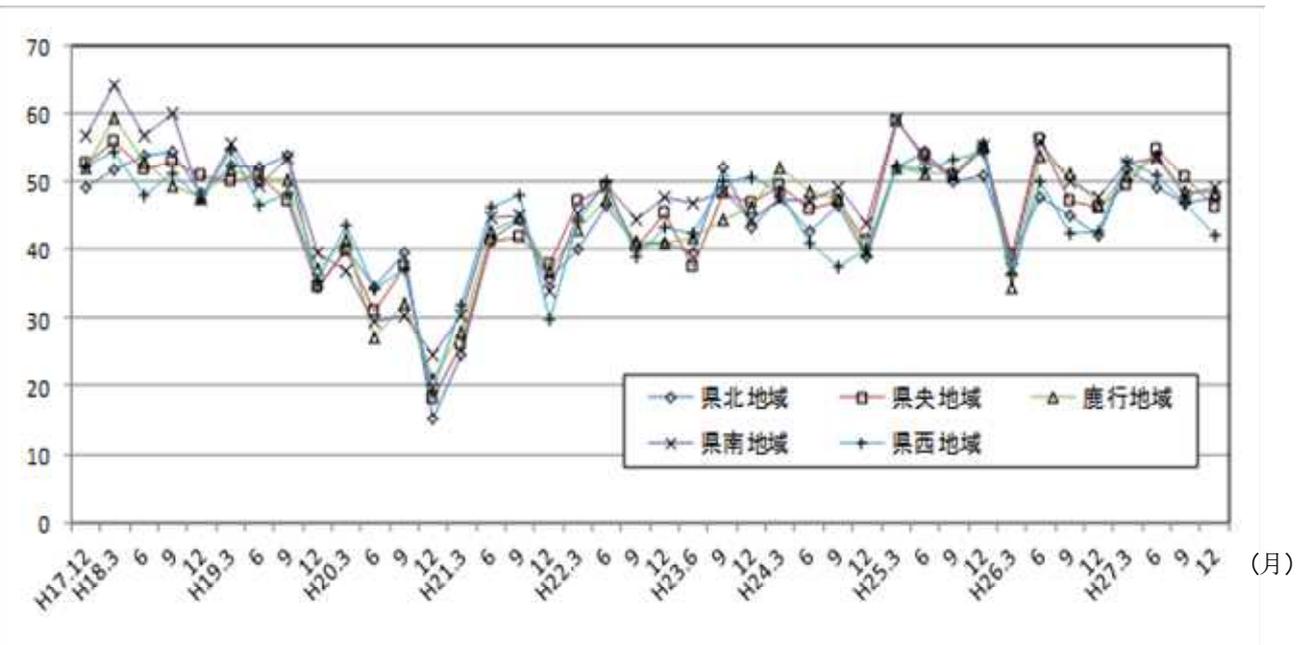
分野	調査月	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		42.7	53.0	50.9	46.9	42.1
家計動向関連		42.9	51.4	50.0	46.3	40.6
企業動向関連		43.1	54.2	51.3	50.0	45.6
雇用関連		40.0	60.0	56.3	40.0	40.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年12月	1.7%	12.1%	50.0%	27.6%	8.6%
平成27年3月	0.0%	35.6%	44.1%	16.9%	3.4%
平成27年6月	1.8%	28.1%	47.4%	17.5%	5.3%
平成27年9月	2.1%	25.0%	39.6%	25.0%	8.3%
平成27年12月	0.0%	13.0%	55.6%	18.5%	13.0%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



### Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

#### (1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	今年は例年よりも、9月10月の売上げが悪かった。その分年度末は忙しくなりそう。建設業の人材不足が原因で、現場での躯体工事の遅れをつくっていると思われる。
		小売業（弁当・惣菜店）	人の流れが出てきたようだ。
		スナック	<b>週末のホームセンターや飲食店が賑わっている。</b>
		観光型ホテル	前年同期と比較して、宿泊、日帰りともに予約が増加している。客単価は下落しているものの、トータルの売上げは前年を上回っている。
		ゴルフ場	12月の出足はプラス11ポイントで良くなっている。天候不順の影響による被害が半減している。7～9月の総来場者数と10～12月の総来場者数比で1ポイント改善している。
	企業	製造業（電気機械器具）	3か月前と比較すると、売上げがやや増加している。
		製造業（電気機械器具）	今月は配電機器などの製品の売上げが好調であり、3か月前と比べて売上げが増加している。前年と比較しても売上げが増加していることから、景気がやや良くなっていると判断する。
		製造業（精密機器）	発注先の窓口が増えている。
		運輸附帯サービス業	取引先からの発注が計画通り増加している。
	求人	公共職業安定所	有効求人倍率が1.02倍から1.10倍へ改善した。有効求人数が3か月前と比較して9.5ポイントプラスとなった。
変わらない	家計	衣料品販売店	依然として必要な物しか買わない。
		自動車販売店	特に要因がある訳でもなく、同じような状態です。
		農産物直売所	客単価などが上がらない。
		レストラン	変化がない。
		中国料理店	<b>お客様から聞く話の中で、景気の良い話がありません。家族での夕食を家で食べる方が増えているようです。</b>
		観光型ホテル	巷では忘年会シーズンで賑わいを見せておりますが、内容的には3か月前と何ら変わらないように思える。
		旅行代理店	3か月前も現在も、前年同水準の集客数で推移している。
		タクシー運転手	お客様の利用が横ばい状態で良い方向にない。
		ドライブイン	<b>客単価に変化なし（昨年対比）。天気大きく左右される。今年は暖かいので人の動きは良いが、売上げUPまでは至らない。</b>
		レジャー施設	目立った景気の判断要因が見られず、従来とあまり変わらないと思われる。
	企業	ゴルフ場	来場者数、客単価等も、季節要因を除いては大きな変化は見られない。
		ボウリング場	新規のお客様が増えない。
		住宅販売会社	<b>多少、分譲地の動きが良くなってきたが、大きな変動はみられない。</b>
		水産業関係者	良くも悪くも変化見られず。
		製造業（電気機械器具）	月別の作業量と比較した際の工事量が変わらない。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と低調ながら、同じように推移している。
		製造業（一般機械器具）	顧客来場者数に大きな変動がない。
		製造業（輸送用機械器具）	国内自動車メーカー各社は、2018年度自動運転開始に向けた環境安全・低燃費等を改善した新車を市場に投入し、購買意欲を深堀しているが、軽自動車も含めて依然前年を下回る厳しい状況となっている。一方、北米は依然好調に加え、中国も好転してきているが、国内の生産に大きなインパクトを与える状況とはなっていない。
		運輸業	大きな変化がなかった。
		金融業	大手企業の地元下請業者への受注は依然として低調であり、先行き不透明な状況が続く。下請け企業は設備投資等も差し控えている様子であり、従業員も先行きの不安から、居宅新築を先延ばしにしている傾向にあり、居住用不動産の動きも鈍い。
不動産業	売行きも特に変化がない。		
情報通信業（情報サービス業）	少しずつ商談は増えてきているが、相変わらず予算は少なく、受注に結びつかないケースが多い。受注できるケースでも、従来に比べ、時間もかかり利益に結びつかないことが増えている。		
雇用	求人広告	良くも悪くも変化の話を目にしない。	
	求人開拓員	<b>地元大手企業協力工場においては、請負としての仕事はあるが長期展望の話がない。大手企業オンリーでは安定しないので、独自開拓している。</b>	
やや悪くなっている	家計	スーパー	10月は良かったが、11月・12月の前半が去年に比べ悪い（毎日の売上げを比較して）。
		スーパー	客数の減少が見られる。客単価は少し上がっているが、お客様の来店回数が減少している。買いたい物が必要なものの購入している様子が見られる。従来の楽しさがなくなったのは、店の問題だけでないと思う。
		小売業（酒類）	若い世代はアルコール飲料離れがあり、飲食店利用者が減っている。
		食堂	物価が上がって、単価を上げたくても常連客なので出来ず、20年前に単価を上げて現在まで頑張っていますが、もし、たくさん稼げていたら、現在預金を支出してみんなのために使っている。客が苦しいのが分かっている。若い客は結婚もできない。
		タクシー運転手	このところ、売上げに大きく寄与する長距離客が回ってこない。これが週に何本かないと売上げがまとまらない。かといって、中・短距離客の営業回数が多くなった訳でもない。弱り目に祟り目だ。どうしても長距離は夜遅めの飲食客が利用し、やはり飲食店の景気もいまいちと言ったことか。
		ゴルフ場	個人商店の経営者のコンペが中止、または店自体がなくなった。
		美容室	3か月前と比較しても売上げが下がっているし、昨年対比でも大幅に売上げが落ちています。

やや悪くなっている		林業関係者	丸太の価格は上がってきたが、昨年のような値は出ていない。
	企業	製造業（電気機械器具）	平成27年10月以降、原子力関係の仕事が少し増えてきた。しかし、総体的に見れば昨年の同時期よりは少ない状況である。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と比較して売上げが減少している。
		建設業	建物等の耐震改修・補強工事はほぼ完了に近づき、技術者や人不足も解消してきている。仕事量が減少してきていることを裏付けているので、景気はやや悪くなっていると思う。
雇用	学校就業関係者	例年であれば、この時期でも求人が数件あるが、今年は全くない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	昨年対比で、今月の前年比が3か月前の前年比より悪くなっている。
	企業	製造業（電気機械器具）	受注量が明らかに落ちている。季節変動は少ない業種なので、景気が悪化しているように思う。
		製造業（精密機器）	受注が2割くらい減っている状況です。特に車関係が減っています。先行きも来年の見通しがなく、開発品を急いでいます。

## (2) 県央地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ゴルフ場	来場者数及び客単価の増加。
やや良くなっている	家計	スーパー	客単価の向上が見られる。多少高単価なものが売れてきている。為替の影響で、食品等の値上げが売価に反映されてきている。
		スーパー	各テナントのリニューアル、施設の大型セールなど、お客様に対して商品の豊富さ、値ごろ感などを大々的に訴求することができ、多くのお客様にお買物していただいた。
		自動車販売店	新型車種の先行予約が大量に入り、新車受注が前月の4割増しとなった。実際の発表は12月9日のため、更なる増販が見込める。
		レジャー施設	繁忙期を過ぎたにも関わらず、新規契約がある。(微増ではあるが)
		建築設計事務所	身の周りに目立った動きは感じられないが、繁華街はやや人が多くなった様子だ。
	企業	農業関係者	秋の農産物の販売代金等の収入があり、農家の景気は良くなっているが、自分の仕事上では景気は悪い。
		製造業(精密機械器具)	上期は、売上げの予算未達が続き苦戦致しましたが、下期に入り、売上げも回復傾向が見られます。また、受注も伸び、トータル受注残高は来期分を含めても、ここ数年来の高い受注残高となっています。
		サービス業(広告業)	年末の販売商戦の宣伝広告ツールの受注分が伸びている。昨年と比較すると、微量ではあるが増えている(5%程度)。
	雇用	求人広告	採用が難しくなっている。
		公共職業安定所	新規求人倍率(当所11月分)2.08倍、有効求人倍率1.43倍と求人量の増加がある。
学校就業関係者		<b>現在も2016年卒業の求人が企業からある。新卒大学生が求められている。企業が元気であれば、このような状況は考えられないと思うので、景気が良くなってきていると思った。</b>	
変わらない	家計	商店街代表者	ほとんど変化がみられません。
		商店街代表者	毎年、9月より11月12月は忙しくなるが、今年は悪いまま変わらない。個人購入は横ばい状態ですが、事業所からの受注が低い状態が続いている。
		百貨店、総合スーパー	<b>歳暮、クリスマス商戦中で、いつもの月より来店客数が増えているが、暖冬傾向にあり、コートの動きが弱いなど、衣料品は3か月前に比べさほど良くなっていない。高額品はクリスマス直前に向け、徐々に上がっていくと思われる。</b>
		百貨店、総合スーパー	お買いものは慎重。欲しいものがあれば高額でも購入に至るが、衝動買いのような購入の仕方は今まで通り見られない。
		スーパー	客単価は横ばいだが、買上率(買上点数)が11.0点から10.9点と若干ですが下がってしまった。
		家電販売店	昨年と比べて、今年は年末になっても売上げが伸びない。
		農産物直売所	ギフト、飲食部門の動きが横ばい推移。
		レストラン	特に変化は見られません。
		レストラン	ボーナス時期だが、まだまだ支給が増えたとか増える話が出ていない。予約状況を見ても、単価がUPされるような状況ではない。
		レストラン	<b>現在は新年会・歓送迎会の申込みの時期ですが、前年、前々年と比べてほぼ横ばいであり、問合せも同じくらいである。</b>
	企業	都市型ホテル	特に目立ったことはありません。
		旅行会社	給料が上がらない。
		タクシー運転手	前期と同じく、相変わらず今月も低迷すると思います。例えば、笠原にある団地から乗車するセールスさんが「今回も良い話がないわ」と言っています。近くの新しくオープンした軽食屋さんは、思いのほか人が入っているみたいですが、が最初だけでしょうか。
		タクシー会社	月間売上げが、3か月前と比較して0.2%の微増となっていて、増えてはいるが、実質横ばい状態と判断される。
		タクシー会社	今月は、企業の賞与支給や忘年会等により、多少お客様の動向はあるものの、例年と比較して変わらないものと判断します。
		レジャー施設	6年ぶりのシルバーウィーク5連休で施設利用者は前年を上回ったが、連休以降はほぼ前年並みで推移している。逆に、物販部門における客単価は下がっているため、良くなっているとは言えない。
		スーパー銭湯	例年より好況であった夏場、そしてシルバーウィークを経て好天気恵まれた10月に、県内外から行楽により集客し、11月は県内のあらゆるイベントが集客を促したのが好況感につながっていると思われます。しかし、この冬場にきて暖かいのは、今後の景気に影響するのではないかと危惧しています。
		理・美容店	年末ながら、お客様は普段から定期的に来られているので、特別変わらないような気がしません。
		理・美容店	当店での上げに言えば、前年比がほぼ変わらない。
		住宅販売会社	お客様の購入意欲に際立った動きが見受けられない。
企業	製造業(食料品)	弊社得意先動向が横ばいである。地元企業からの情報は良いとも悪いとも言えない。	
	製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。	
	建設業	安定した受注推移である。	
	運輸業(道路貨物運送業)	少しずつ貨物の動きが例年並みになってきている。	
	金融業	業種によって差はあるものの、全体的に売上高横ばいに推移している企業が多く、依然として設備、運転資金とも資金需要は弱く、3か月前と比較して景気に変化はないと思われる。	
	不動産業	契約件数、金額ともに変動がない。	
	情報通信業(情報サービス業)	首都圏は、商談機会はあるが技術要員が不足しているとの話を聞く。しかし、地元市場は相変わらず商談機会が少なく、商談規模も小さい。一部の顧客からは、投資先送りの話もあり、3か月前と比しての景気回復感は見られなかった。	
	サービス業(コンサルティング業)	年末にかけて仕事の発注が多く、どこも忙しくしている。	

変わらない	人材派遣業	売上げは横ばいが続いている。	
	雇用 求人開拓員	求人企業の増加、来館人数の減少のなか、最近来館していない求職者の動向を調べてみますと、採用者（約100名）の約半分の方が正規雇用（正社員）で勤務しております。正規雇用が増えることは、家計が安定することに結びつくと思います。業種別にみると、主に製造業及び建設業への採用者が伸びておりました。	
やや悪くなっている	スーパー	売上げが思ったより少ないし、年末の忙しさが無い。安い物しか売れないようだ。プレミアム商品の動きが悪い。	
	スーパー	価格に敏感に反応する方が多くなっているような気がする。以前だと、あまり通常と変わらない動きをしていたが、最近の特に多くなっている。	
	割烹料理店	12月の土日は忘年会の予約が入っており、忙しくなると思うのですが、今のところ3か月前の福刈り時期ほどではありません。	
	都市型ホテル	忘・新年会のシーズンに入ったが、昨年より予約が伸びず、レストラン等の利用も若干下がっている。	
	家計 観光型ホテル	秋の繁忙期にもかかわらず集客が前年割れしている。平日の個人客が伸び悩んでいる。物価高などでシニア層の景況感が悪化しているのでは。	
	タクシー運転手	今月は企業のボーナスやクリスマスがあり、いつもの月より乗車入数が多いがそれは毎年のことである。売上げについて、今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率が悪くなっているため、景気はやや悪くなっていると判断する。	
	ドライブイン	今月は予約も少なく、仕事も時間（営業時間）を短くしています。それほど客足が止まっています。	
	観光名所	当業界の繁忙時期ではあり、3か月前と比較すると売上高に関しては上昇するが、それは毎年同じことである。昨年の数字と比較すると、経費の関係もあり単純に比較はできないが、売上げの面では落としているため、景気は減退傾向にあるのではないかと。	
	企業	製造業（金属製品）	<b>新規受注のベースが落ち込んできました。フル稼働だった3か月前と比較すると、現在は少し余裕を持ちながら稼働している状況です。</b>
		製造業（一般機械器具）	10月までは大変良かったが、11月ごろから受注が少なくなってきた。
悪	家計		
	楽器販売	例年行っているプレミアム商品券、今年は5倍以上の発行で、2割もサービスがついた割には弊社への持ち込みは今までにない寂しい状況。このことから、弊社のような業界は景気の波がきているとは判断出来ない。	
	旅行代理店	<b>パリでの同時多発テロの影響により、海外（特にヨーロッパ）方面への旅行が取消しとなっている。</b>	
	企業		
	製造業（食料品）	観光地でイベント開催すると、客数・買い回り品ともに減少。	
	製造業（窯業・土石製品）	受注が少ない。	

## (3) 鹿行地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	家電販売店	商品単価が上がってきています。テレビ・エアコン・冷蔵庫等、今までより上位機種への選択が増えていました。	
		小売業（書店）	季節要因もございりますが、客単価も客数も高いまま推移しています。	
		和食レストラン	売上げが増加している。	
		洋食食堂	<b>客数、売上げとも好調である。プレミアム商品券の影響も多少あると思う。</b>	
		タクシー会社	営業回数が増えている。	
		製造業（食料品）	売上げが伸びている（前年対比約106%）。	
	企業	製造業（食料品）	末端製品価格UPが浸透してきて、販売数量も元の状態に戻りつつあることから、景気は良くなってきていると思います。	
		製造業（電気機械器具）	受注は上向きに推移しており、売上げも増加している。	
		製造業（金属製品）	政府が報じている大企業の景気とは裏腹で、中小メーカー、特にものづくりの企業は良い状況にないと思う。（材料費の高騰や労働コスト上昇などが挙げられる）	
		製造業（食料品）	政府が報じている大企業の景気とは裏腹で、中小メーカー、特にものづくりの企業は良い状況にないと思う。（材料費の高騰や労働コスト上昇などが挙げられる）	
	変わらない	家計	商店街代表者	プレミアム商品券による消費拡大が一段落し、年末に近づき例年通りの良くも悪くもない状況だと思います。
			スーパー	売上げは良くも悪くもない。変わらないです。しかし、一部野菜の値が安く売上げが下がっている。
農産物直売所			数字上も特に大きな変化もなく、お客様の買い方などに関しても、特に大きな変化は見られない。	
農産物直売所			新聞やテレビのニュースなどを見ると、全体的に景気の上向きを感じられるが、地方にはその動きが現れないと思う。	
小売業（菓子類）			今年の売上げの対前年比と9月の対前年比がほとんど同じである。	
小売業（食品）			暖冬のせい、12月の雰囲気もなく、お歳暮の売上げも良くない。9月は雨の日が続く、米価も悪く農家の収入も悪いので、今月は変わらないと思う。	
精肉店			プレミアム付クーポン券の利用客があり、9月10月くらいは少し売上げが伸びていましたが、現在は戻りつつあるようだ。お客の買い方（客単価）が現在は細かくなっている。	
観光型ホテル			宿泊料金が上のコースを頼む方が増えている訳でもなく、以前と変わらずリーズナブルなコースを注文される方が多い。	
タクシー運転手			地域の工業地帯の活動が下降状態で、職人の出入りも低調気味である。	
タクシー運転手			相変わらず横ばい状態にある。	
タクシー運転手			東京駅からの高速バスを降りた人のタクシー利用が、前回の調査時と同じく少ないです。	
ドライブイン			大きな変化がなかった。	
ゴルフ場			予約状況から判断すると、あまり変わらない。	
理・美容店			売上げで見ると、来客数も売上げも変わらない。	
理・美容店			中間所得層の消費の停滞が慢性化している。	
住宅販売会社			来店数が伸びない。	
住宅販売会社		売行きも特に変化がない。		
企業		農業関係者	天候不順などにより、野菜の価格も低迷しており、景気は伸び悩んでいる状況と思われる。	
		製造業（食料品）	プレミアム商品券利用の購買が一段落し、以前に戻った。	
		建設業	景気は良くなっていると言われますが、業界的には冷ややかな面が多々あります。	
	建設業	新築着工件数が減っています。中小工務店相手なので、どうしてもハウスメーカーと競争がありまして少ないです。		
	運輸業（道路貨物運送業）	このところ、現実的に実現しそうな荷主の引き合いがない。在庫は最低限のレベルで入庫している現状である。極めて静かな物流である。		
	金融業	<b>鹿島コンビナート内の大手企業から受注を受けている中小企業・小規模事業所では、数か月先までの受注は確保しているものの、それ以降の見通しについては不透明であり、景気改善には至っていないと思われる。</b>		
	不動産業	良くも悪くもないです。		
	内装工事業	経費をかけた顧客に接待し、売上げ拡大を目指している事業所もあるようだが、消費者の低迷でどこまで伸びるか不透明なような気がします。		
	サービス業	<b>中国市場の低迷、中国製鉄鋼業の過剰生産から輸出ドライブの点で、国内製鉄鋼業の生産状況は厳しい状況が続いている。</b> 一方、自動車産業は一頃の低迷を脱し、非常に好調であることから、業種毎に大きなむらがあり、総じて勘定すると変化なしという状況である。		
	火力発電所	業績に変化が見られない。		
雇用	人材派遣業	年末の賞与等での消費動向は、普段に比べれば活発に見える。白物家電、自家用車などの購買意欲も旺盛にある模様。		
	民間職業紹介業	毎回のことにはなりますが、求人する企業は増加していますが、当地域では求職者（登録者）が少なく、企業のニーズに合致しないため、マッチングが難しい状況が続いています。		
	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数は前年比増加し、新規求職者数及び有効求職者数は前年比減少しており、有効求人倍率は上昇しているが、中小零細企業からの求人となっている。		
	学校就職関係者	学院生の就職内定もよく、雇用状況は良い感じはするが、新たな問合せも多くなった感じはしないことから、変化はないと感じる。		
	求人開拓員	最近の来庁者を見ていると、60歳以上の求職者が増えている気がする。60歳以上でも働くことが当たり前の時代になってきているのであろうが、生きていくのが容易でない世の中になってきているのかもしれない。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	お客様数が約5%ダウンしている。お1人様あたりお買い上げいただく点数が1.7ポイントダウンしている。
		衣料品販売店	昨年と比べ、客数が減っている。
		小売業（薬品店）	ボーナス時期なのに売上げが伸びてこない。客数が減っているし、客単価も低い。
		製菓料理店	時期的に忙しくなると思うが、現在入っている予約をみると、予算的に低く売上げとしては良くないと思う。消費税が上がった分をお客様の予算に転嫁できず、厳しい現状が続いている。
		レジャー施設	お客様の消費する額が減少傾向を示している。
		クリーニング店	<b>暖冬のため、野菜の値段が安くなっている。野菜の成長が早いので、来年の出荷分がなくなる。</b>
悪	企業	製造業（食料品）	自社店舗売上げから見ると良くは思えないが、デパート等の催事の売上げは悪くなくむしろ良い。12月に入り客足が非常に悪く、景気の状況を考えると悪いのではと思う。
		製造業（食料品）	この3か月の売上げを前年と比べるとやや悪くなっている。
		運輸業（道路貨物運送業）	荷動きが多少悪くなってきている。
		保険業	<b>普通車より軽自動車に乗り換える人が多くなった。</b>
悪	家計	日本料理店	1年前の同じ時期より悪くはなっているのですが、悪くなっている方向ではないかと思えます。あえて3か月前と比べるとしたら、予算を気にする人が増えたので悪くなっていると思えます。
		海鮮料理店	毎回お伝えしておりますが、私どものような商売は、できるだけ安く食べられる所に皆様は行くので、個人事業所は大変厳しいです。

## (4) 県南地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（金属製品）	最近、耐震用の金具受注が多い（電気工用）。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	今のところ、8月～11月では前年対比110%で売上げが伸びている。
		小売業（生花店）	お店の開店が多少増えている。居抜き等の場合も多く、長期の営業店舗として残るかは不透明。
		小売業（米穀）	9月～11月は、常総市の水害ですべてが自粛ムードでさぼりでした。元々、12月はもちつき等でもち米が出ますが、今年はどうでしょうか。これも自粛になると厳しいです。
		和食食堂	年末の宴会、新年会の予約が、大きい宴会より少人数の宴会のほうが多い。
		都市型ホテル	<b>秋の時期と比べると、料金を多少アップしたにも関わらず予約が入ってきており、やや良くなってきているかと思う。</b>
		タクシー運転手	薬品会社の仕事が少し増えてきた。学会の数が多くなってきたかも。
		タクシー運転手	「不景気だから」というフレーズを、お客様から聞く回数が明らかに減った。
		住宅販売会社	良質な土地の動きが活発になりつつある。
	企業	製造業（食料品）	<b>燃料の価格が下落しているため、各事業所とも経費の節減になっていると思います。一般家庭でも同様ではないでしょうか。</b>
		製造業（非鉄金属）	<b>主力納入先の生産増加が継続しており、当社への発注も引き続き堅調である。</b>
雇用	求人開拓員	当センターで元気いばらき就職面接会（つくば会場）を10月29日に行ったが、事業所25社を集めるのに昨年ほど苦労しなかった。定数に達して断った事業所も3件あった。企業は人を欲しがっている。	
変わらない	家計	スーパー	取手のイオンが閉店したので売上げは伸びているが、11月に新たなスーパーがオープンした。2016年2月でアビタ守谷も閉店するなど、企業の体力もなくなってきている。その外部要因がなければほぼ横ばい。
		小売業（食品・酒類）	良くも悪くも平行線といったところ。
		専門スーパー	売上げの変化がありません。
		和食食堂	軒並み前年並み。
		日本料理店	震災後、宴会や忘年会が減っていて、ここ数年変わらない現状にある。
		都市型ホテル	個人消費としては、比較的高いホテルレストラン利用も増加傾向で、景気は良くなっているように思える。企業においては、セールスすつとやはり業種にもよりますが、良い（今回も派手に忘年会をやるところ）悪い（今回はなしのところ）などあり、どちらかと言うと費用を抑えているところの方が多いので、あまり変わらないと思います。
		旅行代理店	秋の紅葉シーズンから旅客数は増えてはいるものの、シーズンのなもので、お客様の商品選びに関しても、まだまだ慎重で景気の上昇を感じない。
		タクシー運転手	お客様との会話の内容で判断。
		ゴルフ場	天候に影響を受けやすい業種だが、予約の状況等は安定している。例年並みの推移となっている。
		ゴルフ場	年末ということもあり、予約状況等も忘年コンパシーズンで活気がある。ただし、3か月前はすでにオンシーズンに入っており、景気的には変わらないというところ。
	レジャー施設	お客様の購入単価が変わらない。	
	理・美容店	夏から秋に変わり、季節が変わってもさほど仕事に対する変化はないですね。上が良くなっても、下に来るまでにはだいぶ時間がかかりそうですね。	
	企業	農業関係者	前回と同じように米価もほぼ横ばい、米の収量も悪く、景気は良くなっていません。以前より当組合の利用度・収益も年々減少しています。
		農業関係者	12月期（初旬まで）の来客数・客単価を、今年度9月期からと比較すると、両者ともに減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	季節的な要因を除けばあまり変わらないと思います。
		製造業（飲料）	良くなった話を聞かない。
		製造業（窯業・土石製品）	季節的要因のみで、他はほとんど変わらない。
		製造業（一般機械器具）	何の変化もない。
建設業		周辺のムード、芳しくありません。建設業はもちろんですが、食堂、レストラン、魚屋、酒屋など、私の出入りしているところの業種では、良い話が聞かれません。厳しいですね。特に夜がだめですね。1人もこない日も出てきています（水戸のレストランの主人）。2人で行きましたが、帰るタイミングがなく、次の客が来るまで帰れませんね、と友達と1時間半もコーヒーを飲んだりして暇つぶしをする。	
建設業		以前は個人相手の工事が多かったのですが、年末は忙しかったが、ここ数年年末もそれ以前も工事量はあまり変化していない。数人で仕事をしている会社なので、1か月にできる工事量は大体決まっており、利益率も昨年と比較しても、そんなに変わっていない。よって景気は変わらないと判断する。	
建設業		今も受注量は変わらず推移している。個人のお客様より会社様からの発注が多い。この1年は、仕事量が常に多く、工事を待っていただいている状況なので、自社の人員を増やさないこと以上の売上げは望めない。	
運輸業（倉庫業）		製品、原料とも昨年と入庫数がほとんど変わっていない。出荷も、この時期は例年通りに見込まれ、増産情報もないので景気は変わらない。	
金融業	全体的に各業種における業況等に関しては特段の変化は感じられない。新規事業所等の開業、進出も目立った動きはなく、不動産の売買も多少の事例はあるものの、企業の設備資金の需要も以前と変わらず少なく、景気自体は3か月前と変化ないと思われる。		
不動産業	特段、結果的に3か月前と大きな変化はありません。良い部門・支店、悪い部門・支店を総合判断し、不動産、管理業、貸付業等ストックビジネスを確立して、読める数字を伸ばし悪い部門を縮小させバランスを取っている。		
雇用	求人広告	新規事業や、採用に積極的な企業が増えていないように感じる。	
	公共職業安定所	有効求職者が減少傾向である一方、有効求人数が増加傾向（4か月連続）にあることから、対前月比の有効求人倍率は4か月連続で上昇しており、指標的には景気の回復を示している。しかしながら、個別企業へのアンケートでは、景気が良くなってきていると回答する企業は見受けられない。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	買い控えをしているように思える。	
		洋食食堂	物価が上がっている。警沢ができない。(60歳代の主婦4名の意見)	
		寿司店	天候不順が一つ。出前専門店が近所にできて、チラシを頻繁に配って頑張っている。出前の注文がほとんどなくなってしまった。	
		タクシー運転手	<b>乗車回数が少なくなっている。日中の多くは老人が多い。夕方から夜間にかけての飲食店からの要請も少ない。</b>	
		タクシー会社	注文が全く入らない。	
		企業	製造業 (家具・装備品)	常総市の水害の影響にて修理仕事は多くなりましたが、お客が被害者であり、予算もなく。当方もボランティア精神にて受けており、残念ながら売上げは大幅にダウンです。
			製造業 (印刷業)	受注件数の減少により、景気は決して良くはない。
悪	雇用	製造業 (窯業・土石製品)	東北関係は活況が続いているが、関東以西は前年割れが続いており、全般的には良くない。	
		学校就職関係者	近所でよく行っていた店が次々閉店していると聞いた。	
	家計	ボウリング場	秋口に入ってから、急に営業実数が下降し続けている。年末・年始に向かっても明るい状況が見えず、厳しさのみが予想されます。	

## (5) 県西地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	自動車販売店	新車への代替が多く発生して、年度末に向けて上向きになっている感じがする。
		タクシー会社	依然として法人客のタクシー依頼が多く、昨年との比較でも売上げは伸びてきている。
		タクシー運転手	朝夕の会社関係の送迎が増えてきて、営業回数も日々増えてきている。
		ドライブイン	圏央道の埼玉県内全線開通により、交通量が増え、入込客数が増加してきている。しかし、客単価等はあまり変化はない。
		ゴルフ場	売店購買状況が良好している。量販店の入場者等も活性化しているような印象もある。
		ゲームセンター	客単価が上がってきており、売上げが上昇傾向である。
	企業	不動産業	建売業者の分譲が増加傾向。
	雇用	公共職業安定所	<b>全体的に求人数は多くなり、景気は良くなっているが、一部の企業、特に海外に進出した企業では、中国経済の影響で状況が悪くなっている。</b>
		求人開拓員	求職者の数が急に減った（相談の電話や来庁者）。職に就かれていると思われるが、求人は多いので、企業にとっては人手が足りないで「仕事が増えても回らない」と聞く。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			客数、客単価共に変化は見られない。
農産物直売所			販売状況は例年と変わらない。
和食食堂			忘年会シーズンなので、少しは来客数が多くなっているが、前年度に比べても客単価が落ちているので変わらないと思う。
都市型ホテル			悪くもないが、良くもありません。年末に向けて人が動いてくれることを祈ります。
旅行代理店			物価も燃料代もほとんど変わっていないように思う。悪くて困っています。買うものはすべて高いように感じます。12月に入って仕事量が減っています。紅葉が終わり、年末のお買いものやディズニーランドなどに行く方が少ないようです。
ドライブイン			年の瀬が近づいているが、特にお客様の動きに変わりはなく、単価等の底上げも見られない。
ゴルフ場			予約状況にて。
理・美容店			来客数、売上げ等3か月間比較しても、あまり数字的に変わりが無い。
建築設計事務所			設備投資などの動きが感じられない。
住宅販売会社		来店客数に変化なし。	
企業		農業関係者	特に変化しているという実感がわかない。貯金残高にも大きな変化なし。
		製造業（食料品）	売上げがほぼ一定の中に収まっているので、良くも悪くもない。新しい仕事が多少増えても、全体としては同じくらいの売上高で推移している。
		製造業（印刷・同関連業）	業種からいえば、10月～12月は大変忙しくならなくてはならないところですが、年々忙しさも薄れ、かつては単品（年賀状関係）で賞与の足しにできたのに、今では賞与を支給するのでもまならない。当業種の大手企業も名前（会社名）こそ業種名を使っているが、技術力を生かして大企業ならではの展開で生きのびている。零細企業も何かを考えねば。
		製造業（電気機械器具）	<b>受注量減対応の人員体制が今も継続している。</b>
		建設業	職人が少ないので、現場がうまく回らない。
		建設業	大企業と公務員はかなり良いらしいが、一般の庶民は良いとは思っていない。
	金融業	一部の製造業や土木建築業では受注増加し、景気回復の兆しがあるものの、大半の企業は売上げが横ばい、もしくはわずかに減少している先が多く、経費削減により前年並みの利益を確保している状況であり、3か月前と比較して景気は変わらないと思惑される。	
	サービス業（コソカト業）	飲食店や商店の客入りを見ていても、ほとんど変化がないように見受けられます。	
雇用	学校就職関係者	3か月前と変わらず、今年は一貫して就職状況が良い。その一方、安定志向の若年層世代が多く、昨年に比べ公務員志願者の増加を感じる。	
やや悪くなっている	家計	家電販売店	暖冬の影響で暖房器具が不振。電気暖房、石油暖房とも大きく前年を割っており、全体に対しての影響が大きい。
		専門スーパー	<b>本年は天候不順、暖冬で防寒商品の動きが非常に厳しい。例年と比べても暖か過ぎやすいため、小売は全体的に厳しくなっている。</b>
		和食食堂	御来店いただくお客様の数が減っています。
		日本料理店	大型外食店の地方進出により、既存客を奪われている。今年のボーナスは昨年よりも悪いと報道されている。
		飲食業	11月末でお答えしますが、夏期を過ぎてから最悪です。
		旅行会社	インバウンドの仕事が全くなくなってしまった。外国人が日本に多く来ている割には、周りでは全く恩恵を受けていない感じがする。
		レジャー施設	<b>行楽シーズンであるものの、常総市水害の影響により、物理的な通行止めや施設営業停止、廃業等があり、景気はやや減速気味であると思われる。</b> 工事車両や支援ボランティアによる道路交通量増はあるが、消費には結びついていない。
理・美容店	水害の影響で来店サイクルが不規則に延びている。		

やや悪くなっている	雇用	製造業（印刷・同関連業）	関東・東北豪雨の被災地である当地域では、人口の流出、商店の閉鎖等で賑わいを失っている。全国から多くのボランティアの方々がおいでになったり、義援金が寄せられていたり、力付けられています。被害が市全体を覆いつくしているため、復興がなかなか進まない。
		製造業（化学工業）	エレクトロニクス、自動車関連部品とも、季節要因もあり需要が落ちている。
悪くなっている	雇用	人材派遣業	取引先の会社からの求人がない。
		家計	商店街代表者
	製茶販売	財布の紐が固くなったようで、無駄ではないものまで買い渋りがあるように思えます。	
	和食レストラン	ほとんど全ての食材が高騰している。年に2〜3回上がるものもある。だからと言ってメニュー価格を上げるわけにはいかない（メニューを作るのに経費がかかる）。消費税8%のため、お客様はより高い物を食べたというイメージがある。	
	タクシー運転手	9月に常総市が洪水になり、出て歩く人が少ない。個人の店や大型店も閉めてしまい先行きが見えない。	
	クリーニング店	秋が長かったのか、行楽などに行ったとの話を聞きませんでした。出費を気にしているのかわかりませんが。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	消費の落ち込みが著しく、地域振興券等の効果もあまり感じられない。特に頑張るべき若年層に、諦め感が出てきているのが気になる。具体的にどうしていけば良いかわからないとの声を多く聞くようになってきている。
		製造業（窯業・土石製品）	受注残が激減している。
		製造業（窯業・土石製品）	予想に反して、思った以上に業界は仕事が少ない。ほとんどの同業者から「今年が一番悪かった」「年々仕事がなくなっていく」という声を聞きます。マスコミの影響で「墓じまい」という現象が起こっている現状です。
		製造業（金属製品）	夏以前とは全く違う様子が見えます。素材納入業者も「材料が動かない」とロクに言っている。
雇用	求人広告	営業先で経営者の方のお話を聞くと、景気の良い話を聞かない。商売で困っている話が多く、採用も一時控えると仰る方が多い印象を受ける。全体的にお金の回りが鈍くなった印象の出来事が多いように感じる。	

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年度末に向かって、仕事がどうしても集中する。
		小売業（弁当・惣菜店）	今の状態は続くような感じである。ただ、年末年始での社会情勢の変化があれば、すぐに変ってしまうので安心はできない。
		小売業（時計）	上昇気流に乗ってはいないが、クリスマス景気が昨年よりは上がる様子がある。
		中国料理店	忘年会での会費が、若干ですが上がってきていることから、今後景気が良くなっていくのかなと思っています。
		観光型ホテル	原油が安くなり活性が見込まれる。
	企業	製造業（電気機械器具）	家電、ロボット関連で多少増産予定。
		製造業（一般機械器具）	年度末までに納める案件の作業量増加が見込まれる。
		運輸業	<b>天候不順（暖冬傾向）の影響が懸念される。</b>
		運輸附帯サービス業	取引先が好調継続の予想。
		衣料品販売店	今後も生活に関する物しか求めないでしょう。
変わらない	家計	自動車販売店	季節的なことを除けば、結局同じような動きであると予想される。
		農産物直売所	天気によって多少変わっているが、来客数などは前年とほぼ横ばいの状態が続いている。
		小売業（酒類）	近隣中小企業等、仕事量も薄く、残業で稼げない労働者多い様子です。
		スナック	消費税が上がるので買い控えるように思う。
		食堂	車の大手A社の修理係の人は、何年も給料が上がらない。19年も務めて退社して転職を考えている。悲しいことだ。
		観光型ホテル	前年同期の予約状況とほぼ同じである。天候（特に降雪）に左右されやすい時期ではあるが、現時点では「変わらない」と判断する。
		旅行代理店	前年同期で3か月後の集客数を比較するとほぼ同数であり、3か月前から集客数に変化は見られない。
		タクシー運転手	お客様の話を聞いても、あまり先行きが良くなるとは思えない。
		ドライブイン	客単価に変化なし（昨対）。天気に大きく左右される。今年は暖かいので人の動きは良いが、売上げUPまでは至らない。
		レジャー施設	特に、景気のプラス要因やマイナス要因が見られない。
		ゴルフ場	若者の消費が伸びない。
		ゴルフ場	1～3月の予約数ベースで前年比50%であり、9月時点の景気が続いている。今後、28年度国家予算編成の進捗状況により、景気の動向が鮮明になってくる。一層経営努力により景気を上げる声がお客から聞かれる。
		ゴルフ場	大きく状況が変わる要因が見当たらないので、ここ3か月とあまり変わらないと思われる。
		ボウリング場	常連のお客様の様子が変わらない。
		住宅販売会社	今年度中は、このままの状況が続きそう。
企業	製造業（電気機械器具）	確定した工事が3か月先も同様と判断しております。	
	製造業（電気機械器具）	3か月後は特に売上げが増加する見込みもなく（減少する可能性もある）、3か月後の景気は変わらないと判断する。	
	製造業（電気機械器具）	原子力関係の仕事が少し増えてきたが、まだまだ先行きの見通しが不透明である。	
	製造業（電気機械器具）	<b>引き合いは増加してきているように見えるが、金額の小さいものが多く、大きくは変わらないと思われる。</b>	
	製造業（輸送用機械器具）	当面、現状の為替環境に大きな変化が表れないとの判断から、一部のカーメーカーでは海外生産品を国内生産に切り替える方針を打ち出している。国内の作業量確保に併せ、景気好転の起爆剤となれば幸運である。	
	金融業	企業城下町として、日立製作所関連への依存度は高く、すべての業種において好転材料に乏しく、今後の景気についても大きな変化はないように思われる。	
	不動産業	変化する要因が見つからない。	
	情報通信業（情報サービス業）	変わる要素がない。	
雇用	求人広告	少し先の見通しを聞いてもはっきりとした答えが少ない。	
	公共職業安定所	有効求人倍率の数値がここ数か月間、1.00倍前後で推移している。	
	学校就業関係者	特に判断材料は見当たらないため、変わらないと思う。	
	求人開拓員	情報処理業界では、受注量は増加して景気上昇の傾向ですが、単価が安く利益の増取につながらない。	

や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	消費税率アップによる駆け込み需要はあるかもしれないが、増税による消費マインドの減退を合わせるとやや悪くなると思う。
		スーパー	お客様の、コンビニ・量販店・スーパーの使い分けが上手になった（30～40歳代）。
		スーパー	<b>11月の傾向を見ると、先行不安が残る。商品の値上げがあっても、実態は価格引き下げでのセール合戦の形となっている。食品だけではなく、衣料などもその傾向がある。</b>
		レストラン	世の中の変化が少し悪くなるだろうと話す人が多い。
		タクシー運転手	12月といえば、タクシー業界では売上げが一番突出する月で、この月を落とせば、これからの3か月間の売上げは必然的にダウンしてしまう。これを書いている12月10日現在では、師走、忘年会シーズンとしての景気の動きが感じられない。これからの残された日数の中、多少は忙しくなると思うが、挽回は難しい気がします。やはり、昨今は年末のこの時期だからといって、飲食街に行っでとんどん金を使ってくれる傾向は少なくなって、追ってはタクシー業界にも悪影響を与えていると思います。
	クリーニング店	周りの商店及び飲食業等々を見ていると、先行き明るいとは思えない。	
	企業	林業関係者	<b>各種資材の値上がりに伴い、利幅の減少が大きく感じられる。一般住宅の着工数は増えているが、周りでは製品が流通しないとの声を聞く（小規模工場）。</b>
		水産業関係者	行政、自治体、そして身の回りの職場も産業的に上向いた感がなく、例えばマイナンバー業務に追われるなど、景気とは遠い分野で多忙になっているように感じる。
		製造業（電気機械器具）	下期後半の売上予想が低下している。
		製造業（電気機械器具）	中国の景気減退の影響が更に大きくなるのではないと思う。アメリカが金利引き上げを行った場合、新興国の経済が更に落ち込む可能性が高い。
建設業		今後、公共工事は特定の分野に重点がおかれていくと思われ、民間の設備投資も勢いが感じられないので、景気としては下降していくと思う。	
悪	家計	製造業（精密機器）	少しずつ見積り案件が多くなっていますが、決まるのは先になりそうです。全国から受注を取るよう考えています。先の見通しはまだ先になるみたいです。

## (2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	製造業(精密機械器具)	現在の受注残高や、最近の引き合い状況などから良くなっていると判断出来ます。
やや良くなっている	家計	楽器販売	希望的観測ですが、これ以上悪くなったらさすがに持ち応えられない。ここが底だと思いたい。
		割烹料理店	忘年会・新年会は終わり、落ち着くでしょうが、歓迎会に期待したいです。
		ドライブイン	来年は海外からの団体のお客様が茨城にも観光に来ると思います。
	企業	不動産業	住宅が売れているため、土地の売買等(投資物件など)の動きがあると思う。通常、数か月先の新築物件には飛びつくように申し込みが入るが、単価の高いアパートを借りる方が少ない。購入している方が増えているのでは。
	雇用	公共職業安定所	求人状況の好転により、求職申込者の減少が続いている。
		学校就業関係者	<b>2017年卒の学生に対しても、求人は減ることがないと思う。極端に変化することがないと思われるので、ゆっくりとした緩やかな状況が継続しているように思う。</b>
変わらない	家計	商店街代表者	これといった景気に関するような動きが感じられません。
		商店街代表者	悪いまま変わらない。個人消費・購入は通販・ネットで購入する機会が多くなっているが、まだまだ生活圏内の店舗にて購入することがある。大企業は、地元(茨城県内・水戸市内)で購入しなくなり、大都市の拠点(東京本社・東京支店・関東地区本部等)で一括購入するようになり、当社などは、企業の茨城支店・水戸支店・水戸営業所等の取引がありました。 「地方の事業の統廃合や事業所縮小で、地方での購入はしなくなりました」等の通達が増えております。
		百貨店、総合スーパー	卒業式や入学準備品は必需品であるため、3か月先の3月は需要が伸びるが、衣料品は慎重な買上げが続くと予想される。
		百貨店、総合スーパー	一部のお客様は価値を中心に購入されるが、大部分のお客様は価格を気になさっている。この慎重さはずっと続いており、今後も続くと考えられる。
		スーパー	年度内までの大きな流れは変わらないかと思えます。為替(円安)の影響も一巡して、価格への影響も限定的になってくると思えます。
		スーパー	全体的には変わらないが、高い物を中心に買う人、安い物や値引き品のみを買う人といった二極化が進むと思います。現在も、夜8時以降は値引き品のみを利用する方がほとんど。
		スーパー	年末は目の前に迫っているのに、まだまだ暖かく、冬物、特に重衣料の売行きが芳しくありません。ナショナルチェーンでは、暖冬予報を基にすでにセールを開始、値引き合戦が始まっている。
		農産物直売所	ギフト予約、飲食の予約の入り方が例年と変わらない。
		レストラン	特に変わらない。
		レストラン	<b>ファミリーの動きも時期的に活発になるが、例年同様の動きになりそう。まだまだ食費にかけた経費は上がってこない。</b>
		レストラン	企業も支出をなるべく抑えるようにしており、景気が向上しているようには感じない。
		都市型ホテル	これといったイベント等はありませんので変わらないと思う。
		都市型ホテル	現状を見る限りでは、今後大きく伸びる感じはしないと予想される。
		観光型ホテル	特別なイベントもなく、集客増の要因が見当たらない。
		旅行代理店	<b>ヨーロッパの治安悪化が尾を引きそうな気配で、海外旅行に大きな影響を与えている。(旅行を控える様子が見られる)</b>
	旅行会社	ボーナスが出ない。	
	タクシー運転手	相変わらず低い水準で推移しています。開店する店(ドラッグストア)閉店する店(ラーメン)があります。職種が違いますけど、プラスマイナスゼロです。閉店するラーメン屋さんからたくさんの仕事をもらいました。	
	タクシー会社	期待感はあるものの、GDP成長率が2四半期連続でマイナス成長となっていることを踏まえると、多くは望めない気がする。	
	タクシー会社	大きな変動はないものと判断します。	
	レジャー施設	ガソリン価格が下げ止まっているにも関わらず、行楽客の足は伸びていない。この先3か月の見直しにおいても、景気動向に対する判断材料は見当たらない。	
	スーパー銭湯	ムードとして好感感が夏場からあると思われ。この冬が暖冬でなく、例年の寒い冬であることが今の好感感を保てるものと考えます。長期天気予報では暖冬で、太平洋側は雪が多くなることで、雪が降ると人の動きが長期になって留まり、大きく影響してしまうのが気になるところです。	
	レジャー施設	現在のところ、今後景気が良くなる材料がないと思う。	
	理・美容店	3月は卒業、入学の季節ですが、当店地域は過疎化しつつあるので、子供も少なくあまり変わらないと思います。	
	理・美容店	12月はたしかに売上げは良くなるけど、例年と変わらない気がします。	
	住宅販売会社	今後3か月で大きな動きはなさそう。	
	企業	製造業(食料品)	業種によって良し悪しがありそうなので、何とも言えません。
		製造業(印刷・同関連業)	好転する要素が見当たらない。
建設業		このまま推移するとみられる。	
運輸業(道路貨物運送業)		貨物の動きが若干良くなっていく傾向が見られる。	
金融業		今後3か月先の売上高の見直しは、ほぼ全業種において横ばいとの話であり、景気は現状と変化なく推移するものと思われる。	
	情報通信業(情報サービス業)	業種柄、商談市場は次年度分が主となってくる。景気の先行き不安からか、地元市場は今ひとつ盛り上がりにかけており、顧客との会話でも、投資意欲が薄まっていると感じている。このような状況から、景気は当面横ばい推移すると予測する。	

変わらない	雇用	人材派遣業	受注が増える案件も少ない。
		求人広告	採用難による業務拡大の危機。
		求人開拓員	経済状況（海外情勢）、そして非正規雇用の賃上げ（格差是正）など不安状況を含んでいますが、正規雇用のベースUP（賃上げ）が進み、夏・冬のボーナス等もあるので冬の消費も順調のようです。また、動向調査の中で卸売業・小売業に採用された方も全体の20%を占めております。
やや悪くなっている	家計	スーパー	なんとなく先行きに不安を感じている人が多いようだ。（消費税増税、マイナンバー制度など）
		スーパー	先行不透明なこともあるが、年末年始で出費が多くなるため、それ以降は財布の紐は固くなるであろう。
		家電販売店	年金や収入が減ってきて、最低限必要な物しか買わない。
		自動車販売店	新型車効果が薄れる。また、3月からは震災5年となり、自動車会社の新車生産が止まった時期に入る。2回目の車検到来がほとんどなくなり、代替え、車検入庫ともに大きく減る。
		タクシー運転手	3か月先の3月は、歓送迎会の時期であり、お客が増えると予測されるがそれは毎年のことである。このところ、利用者の数が減少傾向にあり、この傾向は3か月先も続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。
		観光名所	利益幅の高い嗜好品から利益幅の少ない食料品へと売上高の比率が移行しているため、弊社全体に占める原価率がどんどん上昇し、利益が減っている。また、原材料仕入高の資材の高騰も値段に反映できないため、依然厳しい状況が続くとみられる。
		ゴルフ場	例年のとおり、冬期間は来場者数に伸びが見られない。
	建築設計事務所	年度末に向かっては下り傾向にある。	
	企業	農業関係者	農閑期となるため収入がなくなる。
		製造業(食料品)	天候不順と相まって、好景気に向かうとは思えない。
製造業(金属製品)		<b>見積りの案件が減りました。また、メーカー、仕入先、同業者などは口を揃えて「先の見通しは良くない」と言っています。</b>	
サービス業（広告業）		年度末の予算は、使い切りから削減のほうが多くなっており、例年広告宣伝予算が減る傾向。	
サービス業（コンタクト業）		年末年始の繁忙期が終わってひと段落つく頃だと思われる。	
悪	企業	製造業（窯業・土石製品）	現在受注している仕事が来年1月に終了し、その後の目途が立っていない。
		製造業（一般機械器具）	12月に入り、ますます悪くなりそうです。

## (3) 鹿行地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	和食レストラン	決算ボーナス支給等を勘案。
		洋食食堂	11月から来年の予約や問い合わせが多い。昼間のお客様の来店が堅調である。新規のお客様からの注文が少しずつある。
		ドライブイン	天候不順（暖冬傾向）の影響が懸念される。
	企業	農業関係者	消費者の買い物する平均単価が上昇傾向にあり、今後の消費者の購買意欲が徐々に増えてくると思われる。
		製造業（食料品）	お客様の動向が良くなってきている。
		製造業（電気機械器具）	新規受注案件もあり、増産予定。現在、増員を計画している。
変わらない	家計	商店街代表者	<b>生活関連の食料品関係、ガソリン価格の下落により、消費者にはうれしい要素があるが、温暖化により衣料関係の買い控えもある。</b>
		スーパー	特に良くなるとか、悪くなるとかの材料がない。健康志向は少し増えている。また、少し高くても少量買って、大量パックは売れなくなっているの、これらは続くと思います。
		スーパー	今の現状がそのまま年末・年始と続く。特に大きくダウンしているのは衣料品で、約10~15%ダウンしている。
		家電販売店	季節要因が強くなる業界です。暖冬になれば、季節商品（暖房器）が出ません。その分の購買に変化は出るでしょうが、伸びることはないでしょう。
		農産物直売所	例えば、単価の高いものが売れるようになったとかの変化もなく、取引先様や常連の方の話を聞いていても、特に変化がない。
		農産物直売所	お客様の動きにあまり変化が感じられない。
		小売業（食品）	原発の影響もなくなり、良くなるというのですが、なかなか順調にはいかない。
		精肉店	仕入単価、特に国産牛肉が今後も高値が続くと見るので、厳しい傾向にあると思う。店の周りにアパート、マンションなどが建ち、客が増えることを期待している。
		小売業（書店）	変わらないとは思いますが、夜22時以降の集客がここ数年悪いため、昼間の集客が下がると厳しくなりそうです。
		日本料理店	良い話を聞かず、大きな事業が特に行われぬ。
		観光型ホテル	4月に消費税がアップしてしまうかもしれないが、そのためにかけこみで利用ということは考えにくい。また、3月頃の予約入り状況も例年と変わらない。
		タクシー運転手	地域の環境動向では向上する要因は見当たらない。
	タクシー運転手	現状から判断しても、すぐに景気が良くなるとは思えない。	
	タクシー運転手	高速バス利用者の乗車率が伸びない現状では変わりません。	
	ゴルフ場	前年並みの予約状況。	
	レジャー施設	「やや悪くなっている」との危惧もされますが、希望的な意識も含めて「変わらない」としました。	
	理・美容店	良くも悪くも3か月前と変わらないということは、3か月前もあまり変わらないと思います。	
	理・美容店	必要以上のものにお金は使わない。	
	クリーニング店	来年出荷する野菜がなくなってしまうので、短期間で出荷する野菜を蒔かなければならない。	
	住宅販売会社	増税前の駆け込み層が動くまで変化はなさそう。	
	住宅販売会社	変化する要因が見つからない。	
	企業	製造業（食料品）	取引先によって良い悪いのばらつきがある。
製造業（食料品）		販売状況は、更には振れするまでは行かず現状維持と思われる。	
建設業		オリンピック景気を希望的な見地から期待しておりますが、なかなか好景気にはつながらない感じがします。	
建設業		平成29年4月に消費税が10%になるので、その前かけ込み需要があるかと思えます。少し着工件数が多いかもしれません。	
運輸業（道路貨物運送業）		荷主の要望も極めて細くなってきている。在庫管理、荷扱い、タイムリーな対応、安全管理に関して、今後ますます厳しく対応していかなければ、確実な仕事が発生しないのではないか。物流展開できるモチベーションが少ない。	
金融業		<b>ガソリン価格の低下が続いている状況の中で、メリットを享受する企業は多いと思われる。業種によっては、経費削減が図れると思われるが、依然として設備投資については慎重であり、3か月前の景気も変わらないと思われる。</b>	
保険業		サラリーマンの収入増加が見られない。	
不動産業		全般的に横ばいと思います。	
内装工事業		景気を活性化するには、内需拡大が一番の早道ですが、優秀な官僚たちが考えてもできないのだから、低迷したまま行くのではないのでしょうか。せめて、失速しないほしいと思います。	
火力発電所		相変わらず削減、効率UP等の号令が響く。	

変わらない	雇用	人材派遣業	民間の設備投資意欲は大型投資も含めた案件も旺盛な状況にあると聞く。ただし、具体的な各社の動向は私どもには見えない。来年のコンビナートの大型の定期修理に合わせての設備投資を期待するが、2か月そここの修理期間ではあまり期待薄か。
		民間職業紹介業	求人する企業は増加していますが、当地域では求職者（登録者）が少なく、企業のニーズに合致しないため、マッチングが難しい状況が続くと思われます。
		公共職業安定所	<b>医療・福祉・建設分野等の人手不足の状況が続く等、大きな変化はなく、有効求人倍率も横ばいで推移すると思われる。</b>
		学校就職関係者	特に問題となることもなく、当面は変化はないと感じる。
		求人開拓員	求人企業の賃金を見ていると、全体的に低賃金で推移しているように見受けられる。賃金がもう少し上がっていないと、景気は上向きになっていかないと思う。
やや悪くなっている	家計	スーパー	人件費が上がっており、利益率が減少傾向にあるため、景気はやや悪くなると思う。
		小売業（菓子類）	今年の冬は暖冬の子報なので、冬物衣料などの売上げが減少する恐れがある。
		小売業（薬品店）	年末に、必要なものを必要なだけ、と言っているお客様が多いのだから、3か月先に消費が伸びると思わない。
		割烹料理店	大手の企業のお客さんは忙しいという話を聞くが、その下請けの業者は厳しいという話を聞かされる。
	企業	製造業（食料品）	TPPや消費税の内容がハッキリと発表もされず、先行きがハッキリ見えない。オリンピックスタジアムの問題もそうでしたが、この国は将来の進む方向がハッキリとしていない。決断力がない。（まとめる力が不足しているのではと、思う。）
		製造業（食料品）	原料の価格の高騰で利益減少になると思われるので、やや悪くなると思う。
		製造業（金属製品）	<b>チャイナリスクがじわじわと迫っていると思う。中国に工場を持つ企業、関係会社を通じてもの販売をしている企業など、減速傾向のアジアは少なくとも日本の景気に影響すると思われる。</b>
運輸業（道路貨物運送業）	年度末に向かっても良い話が全くない。		
悪	家計	海鮮料理店	今後、3か月で景気は回復しません。
	企業	サービス業	中国市場の低迷は一時的なものではなく、今後も継続して続くと考えられ、市場成長率の鈍化などからも、これまでのような購買意欲が継続するとは考えにくい。日本経済全体の中国市場への依存度の高さを考えると、今後国内景気は低迷すると考える。また、アメリカの利上げも日本の工業分野がどのような影響を受けるのか、極めて不透明である。

## (4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	農産物直売所	私の店に限っては、週末ゴルフ帰りの客が多く、以前より多くなっている気がする。もっとも、安くて新鮮というのもあり、客が増えている面もある。	
		小売業（米穀）	1月～3月は、毎年良くないのですが、忘新年会等の予約状況から見ると、少しは良くなっていると期待したい。	
		寿司店	二代目が頑張ってる、この頃同級生とか先輩・後輩が来てくれるようになってきた。同級生が予約を入れてくれるようになって、やや良くなるよう期待しています。	
		都市型ホテル	宴会等の予約もコンスタントに入ってきており、少なからず景気が良くなってきているかと思う。	
		タクシー運転手	お客様との会話の内容で判断。	
		タクシー運転手	ここ最近では、2～3か月先の予約も増えてきている。期待を込めて。	
	企業	製造業（金属製品）	来月当たりも、耐震用の金具製品の発注がありそう。	
		製造業（飲料）	時期的に景気が良くなっていると思う。	
		製造業（非鉄金属）	主力納入先の生産増加が継続する見込みであり、当社への発注も引き続き堅調に推移する見込みである。	
		建設業	これまでは公共工事が多かったが、このところ一般民間工事が少しずつ増えてきている。3か月後は年度末で忙しいのはもちろんだが、民間からの注文が増えてくる傾向にあると思うので景気はやや良くなっていると判断する。	
	雇用	求人開拓員	元氣いばらき就職面接会（1月29日）土浦会場の事業所集めに前回は2週間かかったが、今回は5日で定数に達した。明らかに事業所は人をほしがっている。	
	変わらない	家計	スーパー	アピタ守谷が2月で閉店。
			小売業（食品・酒類）	現状として、少なくとも良くなるであろうという気配はなさそう。
小売業（生花店）			<b>近隣の状況は、閉店する店舗がいくつかあったり、冠婚葬祭の小規模化・簡略化等があったりして、景気が上向いてきているとは思えない。</b>	
専門スーパー			良くも悪くもならないと思います。	
和食食堂			店頭のディスプレイ、手書き看板、手まきチラシ等色々工夫していますが、全体に景気の様子はありません。外食は控えめと思う。	
和食食堂			変わりそうな気配なし。	
日本料理店			法事や宴会のお客様の予算も節約傾向にあるので、売上げが上がる期待はできない。	
洋食食堂			世の中の大きな変化が特にならない（自分の身の周りでも）。正社員になれない時代。どんどん貧困で日本がやせていく。	
旅行代理店			<b>今後、消費税の増税も予想されることもあり、消費に対して慎重にならざるを得ない。</b>	
タクシー運転手			毎年、年始は会社が落ち着くまで動きが少ない。	
ゴルフ場			予約受付などは大きな変動要因がない。一部好況の業種もあるようだが、押し並べて現況にそった業況であると思われる。	
レジャー施設			景気が変動する要素が見受けられない。	
理・美容店		季節的な変化で人が動く時期なので、良くなるとは思いますが、新期のお客様が増えるともいえず、減る方が多いかもしれない。プラスマイナスでさほどの変化はなさそうとみます。		
住宅販売会社		年度末までは大きな変化はないと思われる。		
企業		農業関係者	米価もほぼ横ばい、米の収量も悪く、景気は良くなっていません。以前より当組合の利用度・収益も年々減少しています。購買事業が減少しています。	
		農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。	
	製造業（食料品）	現在の景気は、3か月前よりやや良くなっていると回答したが、それより良くなるとは思えない。現況維持ではないでしょうか。		
	製造業（食料品）	特に景気が変わる要因がないと思いますので変わらないと思います。		
	製造業（家具・装備品）	しばらくは変わらないだろうと考えています。良くなってほしいとは思っています。		
	製造業（印刷業）	年度末に向け、受注の件数は増えると思うが、材料等の高騰により、利益は減少すると思う。よって変わらない。		
	製造業（窯業・土石製品）	9月の集中豪雨による復旧需要は、公共事業費の予算の関係でどの程度となるのか不透明である。		
	製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。		
	建設業	自社の人員を増やすことが急務である。求人を断続的に行っているが、なかなかこちらの求める人材が集まらない。また、大工さんも、一様に忙しい状況が続いているので、労働力の確保が非常に難しい。		
	運輸業（倉庫業）	<b>食品関係の動きは上向いている。生産在庫、出庫数が増えて推移しています。その他の貨物は横ばいか、若干下降気味になると推測している。</b>		
金融業	経済効果に結びつくような話題もあまりなく、今後3か月先においても大きな変化は感じられない。引き続き現状と変化なく推移するものと思慮される。			
雇用	求人広告	良くなる要因を感じられない。		
	学校就職関係者	上向く理由が特段ない。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	プレミアム商品券の利用者が多かったが、12月末日で終了になるので心配。
		都市型ホテル	オンハンドより、企業の宴会開催は厳しい状況である。もちろん、定例開催の企業もあるが、内容を減らして会食なしの開催など、経費を抑える傾向である。以上を踏まえ、やや悪くなっていると思われる。
		タクシー運転手	サラリーマンらの日中の乗車が減少。また、夜間の飲み会等も減少傾向にある。近い（ほぼワンメーターに近い）距離の利用が多くなっている。
		ゴルフ場	猛暑、暖冬と悪天候の兆候を抱えたまま、冬シーズンに入ってゆく。この業界は、冬の季節は厳しくやや悪くなっていると判断される。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	東北関係は活況が続いているが、関東以西は前年割れが続いており、全般的には良くなっていない。
		建設業	12月に入ってから多少良くなるだろうと友人と語っていますが、当社も12月は1件も見積り、契約の実績が上がらずです。友人も、今年は年賀状は出さない、10枚くらいにする、とのこと。例年100枚くらい出すそうですが、だいぶ減らすとのこと。年末年始はどこにも出かかず、ゆっくり自宅で過ごす予定とのこと。私も、年末年始は地元の神社参拝の予定。
		建設業	今、工事の見積り依頼が少なくなっている。
		不動産業	年末年始を控えて業況感はやや悪くなると思う。ただし、賃貸部門に関しては1～3月まで需要期に入りますので、一時的には良くなると思いますが、全般業務に関しては全体の需要減少、同業他社との競合により苦戦が予想される。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数は対前月比で2か月連続増加しており、指標的には緩やかではあるが、先行きに明るさも見られる結果となっている。しかし、全産業的な傾向ではなく、産業別では増減にばらつきがある。個別企業へのアンケートでは「さほど良くない」と見ている企業がほとんどであり、「良い」とする企業は見受けられない。
	悪	家計	ボウリング場

## (5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	自動車販売店	ガソリン価格が下がっているのと、メーカーのエコカー車両が好調で3月までは良いと思います。	
		和食食堂	<b>灯油代、ガソリン代は安値が続いているので、この冬はいつもより寒で、その分がほかの消費にまわるのではと期待します。</b>	
		旅行会社	春からは、予約・予定がそれなりに入ってきている。	
		タクシー会社	会社関係の依頼が増え、売上げ増にますます期待できる傾向にある。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	期待も込めて。従来の季節変動で推測すれば受注量が増えるはず。	
		製造業（窯業・土石製品）	期待を込めて「良くなる」と思いたいし、また良くしなければなりません。中国のメーカーや国内の同じような加工メーカーとの差別化を図ったり、原点に戻って品質、価格、サービスを吟味したりしていけば、まだ良い方向へ進むことができると確信しております。やり方いかんで発展の道はあります。	
		不動産業	高額物件の動きが活発になってきた。	
	変わらない	家計	商店街代表者	良くなしてほしいと常に願っていますが、良くなる要因が見つからない。
			スーパー	直近3か月の状況でも、大きな変化（客数・客単価）は見られない。先も同じような状況が続くと予想します。
			和食レストラン	食材の高騰と消費税8%がある。
都市型ホテル			特に大きな変化は見られなさそうだ。	
タクシー運転手			会社関係のタクシー利用は、これ以上増えてこない気がする。会社の営業努力を促したい。	
ドライブイン			来店客だけでなく、問い合わせ数に関しても変化がない。	
ドライブイン			政府による景気刺激策（プレミアム商品券）等が終了するため、景気は思ったより改善されないと思われる。	
ゴルフ場			2か月先の予約状況にて。	
ゴルフ場			現状が良好しているため、現状維持を予測している。	
レジャー施設			今後、常総市や下妻市も復興が進むことにより、景気は前年度同等まで回復するものと思われる。長期的には、営業休止中であった施設が再開し、応援者による消費活動の増加特需も期待できる。しかしながら、観光誘致のための施策が特段見受けられないため、例年並みと思われる。	
理・美容店		数字に変化がないことが常態化してしまっている。		
建築設計事務所		近隣では大規模な水害もあり、投資の様子見を感じる。		
住宅販売会社		3か月以内に何かしらの動きが出るとは思えない。		
雇用		農業関係者	正直よくわからない。	
		製造業（食料品）	現状の仕事内容から考えて、この先しばらくは同じような状況が続くと思われる。	
	製造業（印刷・同関連業）	3月までの年度内は、仕事量も何とか受注があると思う。しかし、厳しい競争のなかでの受注確保のため、利益率も下がる一方だ。社員共は一生懸命努力しているお陰で「継続は力なり」でいられるけれど、政治の力で17年4月から消費税も10%にアップする。政治家は市町村は定数削減したが、その上はしないのか。一般市民はみんな思っている。		
	製造業（金属製品）	年度末頃には“多少の駆け込み需要”も考えられますが、年度末・年初は悪いと思います。		
	製造業（電気機械器具）	長期的な受注動向の把握は相変わらず難しい状況であり、当面は現状の対応を継続する見込みである。		
	建設業	仕事はなんとかあると思うが、良くなっているかほどどちらも言えない。		
	金融業	会社代表者や個人事業主とのヒアリングによると、来年1月以降の受注状況は昨年並みとの予想が多く聞かれる。なかでも、土木建築業者は公共工事の減少で売上げが伸び悩んでおり、公共工事の減少分を民間工事で補う形で昨年並みの売上げを維持している。		
雇用	人材派遣業	取引先の会社からの求人がない。		
	公共職業安定所	<b>一部の企業では先行きが不透明としており、正社員求人より非正規雇用求人による採用を考えている企業が多い。</b>		
	学校就職関係者	3か月後は年度末にあたることもあり、進路先も決定しているため、現状と変化はないと思う。		
	求人開拓員	年末年始を挟むので、求人についてはさほど変化がみられないと思う。		
やや悪くなっている	家計	家電販売店	夏は暑さの影響で季節品や冷蔵庫が好調だったので、それと比較すると、暖冬による冬物の不振は全体に対しての影響が大きい。	
		専門スーパー	<b>中国の景況感への不自信が独まりを見せているので、それが家計動向、小売関係に影響してくる気がします。</b>	
		和食食堂	<b>歓送迎会などでお客が増えるかもしれないが、天候不順で材料費が高騰し、利益率が減少傾向にあるので、やや悪くなると思う。</b>	
		日本料理店	中国経済の低迷により、日本国内の経済にも影響が出てくる。医薬品の見直し、三世帯住宅への補助金支給などが新聞に掲載されているのを見ても、今後の社会保障費捻出は大変なことだと思われる。	
		飲食業	3か月後は2月末としますが、年末年始を過ぎたあとなので、たぶん良くはないでしょう。	

やや悪くなっている	家計	旅行代理店	年末年始で生活必需品の需要は伸びますが、その他のものは控えるようです。旅行に行くにしても、泊まりは控え、日帰りが目立ちます。
		ゲームセンター	プレイ料金やメダルを安売りして、なんとか売上げを維持しているが、来客数は減少している。
		理・美容店	市内からの転居者が増えてきた。
悪くなっている	企業	製造業（印刷・同関連業）	先の見通しが見つからない。災害が繰り返されるのではないかという思いから、人口の流出が止まらないため、商店、医者、飲食店を訪れる人が減少している。
	家計	商店街代表者	台風18号の水害による。
		製茶販売	この先3か月程度で良くなるようなら、とっくに良くなっていると思う。反対に、悪くなるのは簡単に悪くなる。これから税金の納付等で、普段よりお金が必要になるのに、税金は上がるし収入は減るし、商売を続けていくのも大変です。
		タクシー運転手	市の半分以上が水につかり、景気は期待できない。
		クリーニング店	年末のボーナスが上がれば良い方向になるとは思いますが、今までが今までなので出費を抑えるのではないかな。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	減少する傾向にある需要に、ブローカー的、ゲリラ的業者の参入が目立ってきている。特に、本業が不振のせいかな、関連他分野に極端な低価格で参入し、その一時しのぎ的な参入が分野全体を疲弊させるといった、将来も何も考えず、今だけ良ければ…的な行動が目立つという声を良く聞くようになった。
		製造業（化学工業）	例年1～2月は主要市場である中華圏顧客が春節による休業で稼働日が減少する。3月以降の需要回復を期待したい。
	雇用	求人広告	今後の採用予定や設備投資も控えると仰るお客様が多いので、見通しは暗い予感がする。また、担当エリアの中で店を閉める予定まで聞いているため、景気の流れは悪くなると感じている。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	地元大企業の慣習見直しにより、大企業従業員の地元飲食店利用（接待、送別会、歓迎会など）が、著しく減少しているらしい。また、取引企業との交際の見直しにより、贈答品関連（中元、歳暮、その他）も減少している。
	スーパー	本当に良い品物以外、商品のサイクルが短い。
	スーパー	集客が、土・日・祝日集中型になっている。来店動機において会社の差がでている。他社との差別化をどうするかがカギ。プラス価格も。雇用が良くなっているが、消費は伸びていない。
	小売業（弁当・惣菜店）	景気のよい変化のためか、求人を出しても反応が悪い。
	小売業（酒類）	どの地域でも、大手スーパーマーケット乱立、完全なオーバーストアの様相、個人店の生き残りは年々厳しくなっています。
	レストラン	各家庭に電化製品が整っているのに、壊れるまでは使わない。そうなると、電気屋さんがつぶれるのではないだろうか？働く場所もなくなり、より不景気になり、若い人の働く場所もなくなるのでは？大変だろうと話す年配者が多いです（自分達はいいが…）。困がつぶれないといいがと心配、または不安と話す人が多いです。
	スナック	安い物、エコカーが人気。
	中国料理店	お客様のお話で、仕事が忙しくても〇月まで、など今だけの話が多く、景気が良くなる方につながらないようです。
	食堂	もっと景気が悪くなると思う。誰も口から困ったことだけを聞く。食堂に来る人達は、もともと大金がない労働者だから。若い人達は楽しそう。でも、中年の人達は笑顔がない。私は、常連客には「ありがとう、頑張ろうね」と言う。早く「ありがとう、またね」と言いたい。景気はもっと悪くなると思う。皆が笑顔で生活のできる社会になってほしい。
	観光型ホテル	政府には、1日も早く軽減税率の内容を固めてほしい。増税まで1年数か月しかないのに準備が間に合わない。
	タクシー運転手	近隣の商店街のシャッター通りになっている所を通過することがあり、さみしい限りです。当方も利用することがありますが、インターネットで商品を購入できるなど、購入形態の多様化も一因だと思います。更に少子化傾向も相まって、このままではシャッター通りを通り越してゴーストタウンになるんじゃないかと、近い将来に対して懸念が増します。
	レジャー施設	県北地区は、依然として小売店や中型店舗の客足が伸び悩んでいると感じます。週末でも人出が少ない状況です。
	ゴルフ場	65歳以上の客が増えた気がする。女性客が増えた。
	ゴルフ場	リオ五輪のゴルフ競技登場による盛り上がりから、ゴルフ文化への取り組み企画を要望する声が出ている。楽しいプレーができるよう、料金の設定が大きな課題となる。
	美容室	景気がゆるやかなり坂だと政府が言ったり、大企業の売上げUP、個人投資家の利益UP等々とマスコミが騒いでいたりするが、地方にはまったく伝わらない。プレミアム商品券も、その時だけの一過性に終わってしまった感がある。抜本的な改革を望む。
住宅販売会社	原油安の影響が、直近でどう出てくるかが気になる。	
企業	林業関係者	間伐から全伐へ、そして造林しない。今後、民有地ではますます多くなると感じる。補助金等の減少が伴えば、さらに増加し、災害がおき、山林は災害の源となりうるのでは。
	製造業（電気機械器具）	火力発電関係の仕事が大幅に減少している。
	製造業（電気機械器具）	付加価値の高い作業に焦点を絞る、また人材のシフトも多能工への変化が大きくみられる。そのため、熟練工と言われる人材が減ってきている。
	製造業（電気機械器具）	年末、居酒屋や飲食店等が盛況のように感じられた。消費が上昇傾向になっていると感じます。
	製造業（電気機械器具）	最近、税理士から建築業が比較的景気が良いと聞き、意外な気がした。消費税増税（8%～10%）前の駆け込み需要だろうか。
	製造業（精密機器）	とくに動きがなく、地域として悪いようです。
	運輸業	年末年始の観光客・帰省客の動向が気になります。
	金融業	就労人口の減少に歯止めがかからず、高齢者の割合は依然として高い水準で推移。老人介護施設の進出は現在も続いている状況。一方、日立市公設地方卸売市場用地の活用について、二つの大型商業施設を核にモール形式での物販施設等の計画があり、具体化すれば地域活性化は図れるも、衰退している現商店街には更なる不安もある。
	運輸附帯サービス業	取引先の動向が2～3年くらい好調傾向の見通し（受注拡大のニュースが出ている）。
雇用	求人広告	ニュースや報道での景気回復傾向を仕事の場面や実生活で実感できない。
	公共職業安定所	大手金属加工会社において、小規模な雇用調整による希望退職者の募集があった。
	求人開拓員	技術者を募集する製造業が増えているようですが、技術スキルのある高齢者の退職による補充募集なので、特に景気上昇とはいえない。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	個人商店がだいぶ減ってしまった。新規のオープンコンビニ店ぐらい。
	商店街代表者	毎年、11月12月は年賀状の印刷を受注して忙しくなります。今年も受注量は減少していますが、年々逆に変化が激しくなっており、今年は特にひどくなりました。年賀状印刷は、郵便局、コンビニ、スーパー、ホームセンター、量販店、ネット等とお客様の選択肢が増えたが、それでも納得のいかないお客様が当店に来るようになりました。120種の見本を用意して、チラシやダイレクトメールで新規顧客を開拓しておりますが、納期や業務の複雑化、値段交渉で、他店で受付しなかったり、断られたりした物が多く、お客様からは「こなら出来ると聞いてきた」「価格は安く、納期はどこよりも早くしてください」「チラシ価格から、あとどのくらい割引してくれるのか」「印刷する前に校正を見せてほしい」と言われ、校正し直しを二十数回したり、色々な要望が多くレイアウトや校正に時間がかかり、価格が技術力、労働力に見合っていないのが悩みの種で、価格転嫁ができていないです。『モンスター消費者』が増えております。
	百貨店、総合スーパー	高額品の動きが良かったり、セール期間の売上げが良かったりと、二極化しているようにも捉えられる動きが最近見られると思います。
	スーパー	ガソリンが安くなって、食品の他に回るお金が増えた。地域などで実施されるイベントなどが盛況です。
	スーパー	昨年9月～今年8月頃まで米の利用が大幅に下がったが、9月頃より回復傾向。11月度は前年比115%と一昨年の水準になりました。
	スーパー	プレミアム商品券、宿泊券、周遊券などを持っている人が、使用期限が迫ってきたので何に使うかと色々話しているようです。これらの券が、年末年始に向かって活性化される材料になれば期待しています。
	農産物直売所	WHOのハムソーセージの癌リスクの発表から、ハムソーセージのギフトの動きが悪い。
	割烹料理店	景気が良くなっているような話は聞きません。むしろ全体的に悪くなっていると思いますし、アベノミクスは失敗という話を聞きます。建設業のお客様なんかは、旭化成の問題でさらに厳しくなる、とおっしゃっていましたし、農家のお客様は、TPPが本格化すれば悪くなる一方、とおっしゃっています。
	観光型ホテル	一部の企業の利用については景気のいい部分も感じられるが、個人客の消費は抑え気味に思う。
	旅行代理店	旅行業界に関しては、パリ同時多発テロの影響で各社軒並み業績が悪化しており、冬のボーナスも支給額が悪い(少ない)。その分の対策として、買い控えをする等の行動となっている。
	旅行会社	平成29年4月から消費税が10%になります。とても不安です。消費税だけでなく、食品なども値上がりが続く、生活が苦しいです。
	タクシー運転手	千波の通りにドラックストアがあるのに、その向かい側にドラックストアが開店するそうです。また、1キロメートル以内に大きいドラックストアがあるのですが、スーパーマーケットの隣にも大きいドラックストアがあるんです。これどういうこと？千波、笠原地区に病人と老人がそんなにいるの？
	タクシー会社	タクシー利用に関しては、茨城県発行のプレミアム周遊券の利用も一段落したようで、利用金額が減少傾向にあるように感じる。
	タクシー会社	タクシーご利用のお客様は常連客が多く、県外からのお客様の利用が減少しているように思います。
	ゴルフ場	レジャー産業の多様化の影響と思われる、若者のゴルフ離れ、プレー費の低価格化が顕著に現れている。
	スーパー銭湯	当館の別棟宿泊施設の利用者は増加傾向にあり、特に県外からの利用が多くなってきています。また、リピーターも増加となっています。茨城マルシェ等での県内の情報発信が大きいのではないのでしょうか。今後も“茨城”をどんどん発信していきましょう。
	理・美容店	インフルエンザの値段が高いと言っていた。
	建築設計事務所	新卒者の採用が苦戦している。建築業界全体に人材不足である。
	住宅販売会社	消費税増税の話が出始めたが、まだ駆け込み需要を掘り起こすまでには至っていない。
	企業	製造業(食料品)
製造業(窯業・土石製品)		生活必需品への出費以外は買い控えていると思う。
製造業(一般機械器具)		ガソリンは安くなりました。タクシーも良くないと聞きます。
製造業(精密機械器具)		下期からの特長として、現場設置タイプの大型製品の引き合い、受注が連続して決定しました。業界工場の設備投資が活発に動いていることを実感させられます。また、業界の景気の動向は世間の動きから約半年から1年程度遅れてやってくるというジンクスがありますが、納得出来ます。
建設業		低迷したところで落ち着いた様子。
運輸業(道路貨物運送業)		ガソリン、軽油の価格が下がっており、恩恵を受けている。
金融業		水戸市内においては、依然として郊外化が続いている状況にあり、商店街は苦戦を強いられているもの、郊外化に歯止めをかけるべく、積極的にイベント等を行い、中心部の集客向上、地域活性化を図っている。
不動産業		一人暮らしのアパートの入居が少なくなっているような気がする。意外に給与所得がそんなに上がっていないのか、親が過保護になっているのか。
情報通信業(情報サービス業)		最近、ゴルフ場跡地や山林などの遊休地に対する大規模太陽光発電システムの設置工事が目につく。環境に優しいなどのメリットは十分理解できるが、緑地減少の懸念や投資に見合う電気買取価格の問題、将来的な設備劣化による維持費増など、解決しなければならないこともあると聞く。
雇用		公共職業安定所
	求人開拓員	ガソリン代が値下げ傾向にあります。

## (3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	郊外型大型店の新規出店の動きやロードサイドのチェーン店の出店が活発化しており、旧商店街はさらに厳しさを増しそうである。
	スーパー	昔に比べて、少しお金を持っている人と持っていない人の差が大きくなったように思います。
	スーパー	一般食品や菓子などの商品でメーカー値上げになった商品は、その分販売点数が伸びずダウンしている。余分には買わない。デリカは好調のまま継続している。(デリカは点数が3~4%アップしている)
	家電販売店	冬の寒さが感じられない。例年より暖かい日が続いている。商業施設の建築や居抜きで新店舗の入替えがあり、活性化はしている。
	農産物直売所	景気が良くないからだと思うが、税金の話があることが多く、楽観的にははいられないと感じている。
	農産物直売所	平成29年の4月に上がる消費税が景気にどんな影響を与えるのか。ネット販売が増えているが、今後も続くと思う。
	小売業(食品)	水産物の加工品(佃煮)は、若い人には好まれず年輩の人が頼りで、その年輩者が一人、二人と減っているのが困る。
	精肉店	店の周りに大型店舗が最近出店している。全般的に景気が良くなっているのかと期待をしている。
	洋食食堂	待望の後継者が勉強を終え、仕事を担うようになって10か月。新しいメニュー、新しいお酒(ワイン)、新しいお客様も増え、通年で二桁の成長が続いている。がんばってきた甲斐があると思っています。やはり、古い船を動かすのは新しい水夫なのかもしれません。共に知恵を出し合い、お客様のウォンツ(欲求)に答えられるように努力できればと思っています。
	日本料理店	消耗品から食材まで仕入れ値が上がっています。特に今年はカニが高いです。輸入物があまり入って来ていないのでは。他の国にいている可能性がある。
	観光型ホテル	合宿等の団体(同じ年月に使っていただいている)単位の人員が去年より少し増えている。
	タクシー運転手	最近、住居の近くに全国評判のディスカウントストアが進出開店となり、周辺の人の出入りが多く、商品の低価格等で生活環境に期待される。
	ドライブイン	年末年始の観光客・帰省客の動向が気になります。
	ゴルフ場	特に変わらないが、シニア層の動きが活発になっている。
	理・美容店	ファミリーレストランや居酒屋等の外食店も土日は賑わいますが、平日はかなり空いています。無駄な出費はまだ抑えている感じはします。先日、あるお店の新規出店を見ました。車は満車で人はたくさんいましたが、実際に買い物をしている人は少ない。買い物カゴを持たない人が多い(買うつもりがない)。
	クリーニング店	地方活性化のため、廃校になった小学校の跡地に、さつまいもをテーマにした「なめがたファーマーズヴィレッジ」が10月末にオープンしました。地元の人を採用してくれて、働く場所ができて喜んでいる。
企業	製造業(食料品)	季節限定等の特徴ある商品は、少々高めでも売れている。
	製造業(電気機械器具)	先行きは不透明。しかし、悪くなっているとも感じない。
	製造業(食料品)	人手不足で仕事を増やせない。
	製造業(金属製品)	中堅企業で海外投資額の多い会社の買付支払いが遅くなっている様子です。海外工場、あるいは生産が少しずつ減少ぎみなのかも。国内中小メーカーの生産は少なく、夕方5時まで受注がない状況です。
	建設業	年度末にむけて、受注増を期待しますが、経費等の増もあり、利益増へとはいかないのではと思われます。
	建設業	太陽光発電が盛んです。農地などにも設置されています。
	運輸業(道路貨物運送業)	コンビニ、携帯電話、パソコンなど、世の中非常に便利になり、生活しやすくなったような気がするが、実は人の心がますます離れて届かなくなって行ってしまいそうで、そのように考えている人もいるのではないかと。
	金融業	国道沿いに大型店舗の出店やショッピングモールの建設計画等があり、今後地域の消費に関しては上向きになるものと思われる。
	保険業	畑農家で芋を作っている人が良くなっている。
	不動産業	個人の新規開業したい方が少し増えている気がします。
	内装工事業	街を歩いていると公共事業の現場を見かけますが、以前から比べると小規模で、このくらいの仕事では利益も出ないんじゃないですかね。
	サービス業	自動車分野の受注が好調で、上期の低迷期を脱したと感じている。一方、産業機械分野は一時期のアベノミクス効果が薄れてきた感がある。
	火力発電所	大型の設備改造を実施しているが、活気が感じられない。
雇用	民間職業紹介業	外国人労働者を雇用する(希望する)企業が増加している。
	公共職業安定所	管内企業の大量雇用、大量離職等の情報等は把握していない。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	ニュースで、加工肉のウィンナー類を食べると癌になるリスクがあると報道があつてから、加工肉が少し売れなくなってきている。ギフトのハムギフトもまったく動かず。
	小売業（食品・酒類）	中心部では、住宅もまだまだ増えそうなので、良くなるのかもしれないが、郊外までは恩恵はまだなさそうな気がする。
	小売業（生花店）	土浦市のホームセンターが2016年1月31日で閉店となる。冠婚葬祭の規模が縮小傾向にあつて、葬儀では新聞訃報への掲載をせずに、近親者だけの葬儀が周りで増えている。婚礼は、「楽婚」などの会場レンタル形式の企画ものの披露宴が増えている。お寺さんからの情報で「法事」の案内をしても、お寺さんが係る法事が減つて、家族でお墓参りをするだけの法事が多くなってきており、お寺の収入が減ってきている。最近、リサイクル店舗の廃止が増えてきた。土浦市内で2店舗閉店しており、業界再編の動きがあるようだ。土浦市駅前の保険会社ビルの名称が2～3か月前に変更になっており、所有者が変わるなど、保険会社の資産見直しが始まっているようだ。ほかの保険会社のビルも所有者が変わってきている。
	小売業（米穀）	9月の常総の水害では、外食や祭り等の自粛で売上げが激減した。米の作況も悪く、思うように仕入れができません。こんなに米が集まらないのは、私が米屋を継いで初めてです。今後あまり期待できず、茨城県産プレミアム商品券の販売で、他道県産より茨城県産が売れていることから、利益率が減少傾向にある。
	和食食堂	宴会について、金額の多い団体は少ない。
	和食食堂	特に変わった動きは見られない。
	日本料理店	地域の集まりも減少傾向にあり、それに伴い宴会収入が減っている。人口減少があり、地域企業も少なく、雇用数も増える気配はないので、仕出しや宴会収入の期待はできない。
	洋食食堂	家族経営の町の洋食屋さん閉店。テレビで紹介された店は行列。宣伝効果大である。
	寿司店	同業種の商売の方が、10件近く店を閉めてしまった。街が出来て40～42年、高齢化が原因か、小学校も2校か1校になり、先が思いやられます。
	都市型ホテル	ホテルとして、インバウンド（中国・台湾・韓国・東南アジア他）が期待されたが、東京があふれないと茨城まではなかなか受注、獲得できない状況である。県としても、茨城空港から観光地へ誘致するため努力されていると思われませんが、オリンピック開催までなんとか形あるものがあれば、このエリアも景気が良くなると思われる。
	タクシー運転手	土浦駅前、旧ヨーカドーに土浦市役所が9月移転オープン。周りの飲食店は以前より混んでいる様子。
	タクシー運転手	ラーメンチェーン店の値上げをはじめ、安売りが終焉を迎えたように思える。消費者が「より安いモノ」ではなく、「適正な価格のより良いモノ」を求め始めてるように感じている。
	ゴルフ場	ゴルフコンペの組数が、直近になって予約数より減ることが多くなった。天候等の影響もあるが、当ゴルフ場は高齢者が多いためであるかと思われる。今後の状況を見守りたい。
	ゴルフ場	例年に比べて、忘年コンペ等の予約、実施等が多く活気がある。ただし、寒暖の差が大きいため、雨予報が出るだけで来場者が大きく減少するなど安定感がない。
ボウリング場	年金層の消費増や中小企業従事の消費増、若年層の消費増（＝収入増）にも期待出来そうもなく、一部大企業従事者や公務員などの安定した収入層の消費力ではかばいきれないでしょうから、プラスに向かうとは思えません。	
理・美容店	理容等にいえることですが、安いお店に子どもが流れてしまつて、ほとんど子どもが髪を切りにこなくなりましたね。時代の変化といえばそれまでですが、景気が良くなれば子どもの散髪にもお金をかけてもらえるのでしょうかね。	
住宅販売会社	土地の良し悪しでお客様の動きが顕著に変わる傾向が強くなった。	
企業	農業関係者	管内の商店街、飲食店等を見ても、お客の人数が減少していると言っていました。
	製造業（家具・装備品）	大きな結婚式場が近々閉めるようで、若い人にも節約ムードが生まれてきたと思います。式の費用より他のことに使いたいという考えか。
	製造業（窯業・土石製品）	先日発表された7～9月期のGDPが速報値と異なり上方修正されたが、民間の設備投資については計画と実績値にまだ乖離があり、もっと企業は設備投資を行うべきと政府から発言がありました。以前は、政府が長期の公共投資計画、例えば第○次道路5カ年計画を発表し、企業はそのような具体的な計画があれば安心して設備投資を行えるが、現在は1億総活躍社会などの抽象的なソフト面の政策ばかりが目につき、ハード面の投資はなかなか行えない環境にあると考えます。
	製造業（窯業・土石製品）	マイナンバー制度の施行によるシステムの導入などが必要。
	製造業（非鉄金属）	求人に対する反応が鋭い。必要な雇用が確保できていない。
	建設業	私は毎朝3時に起床、4時までに身の回りの片づけ、朝食を済ませます。4時過ぎには事務所でタイムカードを押して1日の始まりとなります。365日、39年間続けております。おかげ様で身体全て健康で医者要らず、両親に感謝です。24歳で会社を起し、今年で72歳となりました。48年間の事業継続は毎日が楽しく、これからもあと10年、80歳まで頑張りとう自分に更に磨きをかけたい。
	建設業	最近、全然知らない一般個人の方から、2件見積り依頼があつた。インターネット（商工会ホームページ）を見て知つたので、見積りだけでもお願いしたいとのこと。どちらも何社か相見積もりをとつており、成約には至らなかった。今までは数十万円程度の工事なら、値切り交渉ぐらいで、相見積もりはなかった。公共工事なら理解できるが、何とも世知辛い世の中になってきたような気がする。
	建設業	以前のお客様の店舗では、割と集客が多く景気の良い話を聞くので、外食にもお金を使うゆとりを感じる。
	金融業	土浦市役所が平成27年9月24日から駅前ビル（元イトヨーカドー土浦店）に移転したが、特段の経済効果波及はない状況である。台風18号等の被害も、近隣市内ではそれほどの影響はない。税金滞納による税務署等からの調査依頼が、依然として後を絶たない状況にある。
	不動産業	顧客及び地主・家主から見て安全安心を提供できる、大規模な業態を持った業者に流れ、品数、価格、サービスに対応できない小規模業者はますます厳しくなつてきています。
雇用	公共職業安定所	中国経済の減速や関東・東北豪雨災害が業績に悪影響を及ぼしていると捉えている企業が見受けられる。また、労働者の休業を計画・実施する動きが一部に見られるようになってきている。
	学校就職関係者	最近はお宝くじ売り場にも人がいなくなったような気がします。夢も買えなくなつているのかなと思うと寂しいです。
	求人開拓員	12月の初めに関西に旅行したが、ツアーが発表されてすぐ締め切られた。老人が多かった。高齢者が金を使っているのか。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	台風18号の水害の影響は、ただごとではありません。
	商店街代表者	団体旅行に便乗して旅してきました。皆さんのおみやげに使う金額の多いこと。日常生活はシビアにつましいが、ハレの日はこんなに使うのかとびっくりしました。
	専門スーパー	中国人の紙おむつ等の爆買いが減少しつつある。
	製茶販売	年配者の方が、スーパーなどで惣菜やお弁当を買っているのをよく見ます。ちょっと前には信じられない光景です。核家族が増え、少人数なら買って食べた方が安く済むのかもしれませんが、若い人たちも惣菜・レトルトに頼ることが大きいのは、女性が働き、家事に時間を掛けられないせいではないでしょうか。景気回復は、働き手がたくさんお金を稼ぐだけで良くなるとは思えません。タンス預金が無くなり、お金が世間をまわるようであれば、景気が回復したと言えないでしょう。
	和食食堂	スーパーマーケットには人が出ているので、外食を減らしているのだらうと思います。
	日本料理店	若者に意欲がない、政府でも年次休暇、育児休暇を取るようにと奨励しているが、中小企業零細企業にはなかなかそのような余裕がないのが現実だと思われる。
	飲食業	人口が減り続けていることは重大な問題かと思いますが、皆さんはどう思いますかね。人口が多いことが国力（経済力）になっている国があるような気がしますが。
	和食レストラン	お客様が口うるさくなってきている。例として、お茶が遅くなっただけでも怒る。料理の中に自分の嫌いな物が入っていると、他の物に替えてと言ってくる。こちらの少しのミスも許さない。
	都市型ホテル	市内に大型チェーン店が何軒かオープンしているが、勝算はあるのだろうか？と思ってしまう。でも、少しでも人が流れてくれれば助かります。
	旅行代理店	忘年会を望年会としている団体があります。来年に希望をもつようにとの意味だそうです。しかも会費は3,000円にして、できるだけ安く抑える工夫を皆さんは考えています。野菜も安くならないままです。土がついたものや直売所から買っている方などが目立ちます。毎週日曜日の市役所駐車場で朝市（AM7:30～）は、にぎやかになりました。
	タクシー運転手	夜の飲食店も、店を早く閉めている所が多い。
	ドライブイン	圏央道埼玉県内全線開通により、大型車（トラック）の利用が格段に増加した。やや割高の通行料であるが、時間には代え難いことを改めて感じた。
	ゲームセンター	常総市の豪雨が発生した時に比べれば、お客様も徐々に戻りつつあると思います。
	レジャー施設	当施設は、水害により温泉設備、電気設備が壊滅的な被害を受け、未だ営業停止中です。よって、従業員は道の駅しもつばに勤務しており、本調査の回答も営業中である道の駅での動向になります。災害復旧工事は予定は2月末。営業再開後にどの程度お客様が戻ってくるか不透明ではあるものの、リニューアルオープン後は売上げ特需が期待できるものと思われれます。
理・美容店	動きがないのが特徴的になってしまった。消費税増税の影響による悪化だけは避けたい。	
企業	建築設計事務所	災害が起こると、小さい工務店、一人親方、職人が大手を振って闊歩する、変わらない光景。
	製造業（食料品）	この間の常総市の水害により、取引先が廃業に追い込まれるところがあるので。ただでさえ後継者不足なのに、近隣地区での一層の地盤沈下が怖い。
	製造業（印刷・同関連業）	東京都内（銀座・浅草・新宿等々）にたまに出かけるが、外国人（特に中国・台湾・韓国等々）が特に目立つ。紅葉の京都でも、清水寺はじめ名所はとも「人・人・人」だった。爆買いでデパートはじめ、売上げアップで喜んでいますが、本当に良いのか、野党がいくじない（政策がない）ので、自民の勝手が目立つ。中近東の子ども達を思うと、今の日本は少し考えた方が良いと思う。
	製造業（印刷・同関連業）	地域経済活動として、行政、官公需は大きな得意先、消費先であるが、国の地方創生のかけ声など気に留めず、安ければ調達先は県外、市外でも。事業者とは言えないようなブローカー的業者も同一に扱う傾向がますます大きくなっている。行政、官公庁は、地方創生ではなく、地域消滅を手助けしているのかと言う声が大きくなっている。地方の実情を見ていないという声も大きくなっている。
	製造業（窯業・土石製品）	報道される景気回復を実感する話はあまり聞かない。受注減少抑止のため、値下げの動きがあり、ますます厳しい。仕入れコスト、製造コストは上がっているのに。
	製造業（窯業・土石製品）	最近、目につくのは建物の解体現場です。また、当社にも旧工場の「解体をやらしてくれ」との話が2～3社から依頼されました。鉄材が高い頃は無償だったり、お金をいただけたりしましたが、今はまったく逆で、お金を払わなければならぬし、解体業者が利益をとれる、儲かる業種のひとつになっているのが現状です。本当は壊すより、作る・造る仕事で利益を生む社会が健全だと私は思いますが、また、そうでなければ成長発展はあり得ません。
	製造業（金属製品）	公的機関から依頼された“市場調査”的書類が数多く送られてきます。
	建設業	相変わらず地方の景気は停滞している。
	建設業	これから先は預金も目減りして、増税になるので、ますます厳しくなるのではないかと思います。市も災害に遭い、人口の減少があったり、企業や商店がやめていったりするので、収益の面でも大変になってくると思います。
	金融業	東京都内の上場企業と取引している企業（製造業、部品加工業、建設業等）においては、1月以降受注増加がみられる企業がある。オリンピック特需の影響と思われる。運送業者や土木建築業者では人手不足がみられ、人材確保に苦慮している。そのため、今後人員不足による建設単価、運送単価の上昇が予想される。
	不動産業	消費増税に関する質問が増えている。事業用の需要が増えている。
サービス業（コソカト業）	圏央道の工事で、工事関係のダンパーが忙しそうに動いておりましたが、最近はその数も少なくなり、賑わいが薄くなったように感じられます。	
雇用	求人広告	飲食店の集客が悪くなったように感じる。例年だと予約が取れない店も、今年は簡単に取れてしまう。また、例年飲食店は閉店する予定がある場合、11月、12月は営業をした上で年始に閉店するが、今年はその前に資金難で閉めてしまうケースが多い。テナントを募集するビルや建物も多くなってきた。